

2022年度第3四半期 決算報告書

プレスリリース
2022年11月3日、パリ発



底堅い業績

営業増収、ジョーズ効果はポジティブ、
その上、リスク管理は堅実

営業収益が力強く増加
事業部門が全てプラス寄与

ジョーズ効果はポジティブ (+2.0ポイント)

営業収益：前年同期比+8.0%

営業費用：前年同期比+6.0%

(連結範囲変更・為替レート変動による影響を除いた場合)

営業収益：前年同期比+4.9%

営業費用：前年同期比+2.8%

堅実、積極的、かつ、長期にわたるリスク管理の実績を
リスク費用の低さが体現

基調的なリスク費用¹

31 bp²

純利益は高水準

純利益³: 27億6,100万ユーロ、前年同期比+10.3%

バランスシートは盤石、収益力は向上

普通株式等Tier 1比率⁴ : 12.1%

有形自己資本利益率 (ROTE) ⁵ : 11.4%

1. ポーランドの「債務者支援法 (Act on assistance to borrowers)」による一時的影響を除く (この影響を含めた場合は39bp) ; 2. リスク費用+顧客向け融資期首残高 ; 3. 親会社株主帰属純利益 ; 4. 資本要求指令4 (CRD4) 国際財務報告基準 (IFRS) 第9号経過規定を含む ; 5. 再評価前



BNP PARIBAS

The bank
for a changing
world



本プレスリリースに含まれる数値は、未監査の数値です。

本プレスリリースには、将来の事象に関する現在の見解および見通しに基づいた予測的な記述が含まれています。予測的な記述には、財務上の予測や見積りおよびその基礎となる仮定、将来の事象、事業活動、商品およびサービスに関連する計画、目標および見通しに関する記述、ならびに将来の業績およびシナジーに関する記述があります。予測的な記述は将来の業績を保証するものではなく、BNP パリバとその子会社および出資先企業にまつわる固有リスク、不確実性および仮定によって左右されるものです。さらには、BNP パリバとその子会社の事業展開、銀行業界のトレンド、将来の設備投資および買収、グローバルもしくはBNP パリバの主要地域市場における経済状況の変化（世界的には特に新型コロナウイルスのパンデミック関連）、市場競争ならびに規制といった要因にも左右されます。これらの事象はいずれも不確実なものであり、現在の見通しとは異なる結果と、ひいては現在の見通しとは大きく異なる業績をもたらす可能性があります。実際の業績は、予測的な記述において見積りまたは示唆されたものとは大きく異なる可能性があります。本プレスリリースに含まれるいかなる予測的な記述も本プレスリリース発行日現在の予測です。

BNP パリバは、新たな情報や将来の事象によって、予測的な記述を公に修正もしくは更新する責任を負いません。これに関連して、「監督上の検証・評価プロセス (Supervisory Review and Evaluation Process : SREP)」は欧州中央銀行 (ECB) により毎年実施されますが、BNP パリバ・グループが満たすべき所要資本比率は毎年修正される可能性があることに留意が必要です。

本プレスリリースに含まれるBNP パリバ以外の第三者に関わる情報もしくは外部の情報源から入手した情報は、その真実たることを独立に確認したものではありません。ここに記載の情報や意見に関して、表示または保証を表現あるいは示唆してはならず、またその公正性、正確性、完全性または正当性に関しては確実なものではありません。BNP パリバもしくはその代表者ともに、いかなる過失に対しても責任を負わず、また本プレスリリースあるいはその内容の使用により生ずる、もしくは本プレスリリースやここに記載の情報や資料に関連して生じる、いかなる損失に対しても責任を負いません。

表中および分析において掲載された数値は四捨五入のため、内訳の合計と総数に若干の差異が生じる場合があります。



BNPパリバの取締役会が2022年11月2日に開催され、ジャン・ルミエール会長が議長を務めるなか、当グループの2022年度第3四半期の業績が検討されました。

今回の決算を踏まえ、ジャン＝ローラン・ボナフェCEO（最高経営責任者）は取締役会の最後に以下のように述べました。

「BNPパリバは、経営資源の結集を継続し、事業活動の推進を続け、お客様や欧州経済に貢献しています。

当グループは、ビジネスモデルの強みを発揮し、第3四半期に底堅い決算を達成しました。この好業績は、BNPパリバが欧州経済に資する先進的プラットフォームを開発・拡大する能力を有することを実証しています。また、好業績は、お客様に経済情勢に適応する力強さがあること、BNPパリバが個人・法人・機関投資家のお客様を景気循環のあらゆる局面でご支援できる能力を備えていることを体現しています。

当グループは、経済や社会の変革に向けたニーズの高まりを満たすため、気候、生物多様性、循環経済、持続可能な貯蓄・投資・ファイナンス、社会的包摂にコミットし、その実行を続けています。

お客様の我々へのご信頼に御礼を申し上げますと共に、BNPパリバ・グループの世界中のチーム全てに謝意を表します。」

*
* *

他に特に言及がない限り、本プレスリリースに含まれる財務情報・事項にはバンクウエスト関連の活動が含まれ、事業上の見解を反映しています。当該財務情報・事項は、国際財務報告基準（IFRS）第5号（売却目的で保有する非流動資産に含まれる資産および負債に関連）の適用により生じる影響は反映しておりません。本プレスリリースでは、下記の通り、IFRS 第5号を適用せずに提示する事業上の見解とIFRS 第5号を適用した場合の連結財務諸表の調整を含めています。

底堅い業績：営業増収、ジョーズ効果はポジティブ、リスク管理は堅実

BNPパリバ・グループは多角的かつ統合的なビジネスモデルを備え、お客様に寄り添う力、経済と共に歩む力を包括的に擁しており、2022年度第3四半期も営業収益と純利益を力強く伸ばし続けることができました。

当グループは堅実なビジネスモデルを活かし、長期的なアプローチで強化し、当四半期の純利益で前年同期比10.3%増を達成すると共に、収益性の向上も実現し、有形自己資本利益率（ROTE）は11.4%¹に上昇しています。この好業績は欧州における独自の立ち位置の表れであり、業界有数のプラットフォームから生じています。

当グループの成長余地は力強い事業モメンタムで実証されており、2021～2022年度に具体化した戦略的發展によって持続しています。当グループの成長には節度があり、いずれの部門でもジョーズ効果はポジティブです。また、長期にわたる堅実かつ積極的なリスク管理も効果を発揮しており、例えばリスク費用が営業総利益に占める比率は欧州で最も低い部類です。

当グループはグループを挙げてのアプローチを通じて社会と関わる方針を強化し、お客様が持続可能な経済へ移行するご支援を推し進めています。その舵取りのためのツール、プロセス、ガバナンスの強化に取り組んでいるほか、ローンポートフォリオがカーボンニュートラルの目標を達成できるよう必要な措置を講じています。

¹ 再評価前



当グループ全体の当四半期の営業収益は123億1,100万ユーロに達し、前年同期比8.0%増でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同+4.9%）。

事業部門の当四半期の営業収益は大きく伸び、前年同期比8.3%増でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同+5.3%）。ホールセールバンキング（CIB）部門の増収は力強く（+5.9%。連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+2.0%）、特にグローバル・マーケット事業と証券管理事業が力強く貢献し、グローバル・バンキング事業も不利な市場で底堅さを示しました。コマーシャル&個人向けバンキング サービス（CPBS）部門の営業収益¹も9.6%増と堅実に伸び（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+6.9%）、コマーシャル&個人向けバンキング事業の力強い伸び（+7.2%）と専門的金融事業の極めて力強い伸び（+14.7%）に牽引されました。インベストメント&プロテクションサービス（IPS）部門の営業収益も極めて不利な市場環境にありながら8.9%増と力強く伸び（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+7.1%）、特に保険事業とウェルス・マネジメント事業の増収が寄与しました。

営業費用はグループ全体で当四半期は78億5,700万ユーロ、前年同期比6.0%増でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同+2.8%）。費用増は高水準の事業活動に伴うもので、ジョーズ効果はグループレベル・全事業部門とも正でした。当四半期の営業費用には、一時項目として、事業再編費用と事業適応費用（3,200万ユーロ）、および、IT強化費用（9,700万ユーロ）が合計1億2,900万ユーロ含まれています（前年同期は6,200万ユーロ）。

事業部門の当四半期の営業費用は前年同期比5.9%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同+2.8%）、ジョーズ効果は正でした（+2.4ポイント）。CIB部門の営業費用は特に為替レートの影響を受けて4.5%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと-0.2%）、ジョーズ効果は正でした（+1.4ポイント）。CPBS部門の営業費用¹は、コマーシャル&個人向けバンキング事業と専門的金融事業の双方で事業活動の伸びと連結範囲変更の影響があり7.0%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+4.5%）、ジョーズ効果は高水準でした（+2.6ポイント）。営業費用¹の伸びは、コマーシャル&個人向けバンキング事業が6.5%増、専門的金融事業が8.4%増です。IPS部門の営業費用は4.8%増で（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+2.9%）、主に事業開発支援的を絞った取り組みで嵩みました。ジョーズ効果は極めて高水準でした（+4.2ポイント）。

営業総利益はグループ全体で当四半期に44億5,400万ユーロに上り、前年同期比11.7%増でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同+8.9%）。

リスク費用は、グループ全体で当四半期は9億4,700万ユーロ、前年同期比34.1%増でした。この中にはポーランドの「債務者支援法」による一時的影響（2億400万ユーロ）が含まれていますが低位で（この影響を除くと顧客向け融資残高の31bp相当、含めると同39bp相当）、不良債権（ステージ3）の引当は低水準でした。当四半期のリスク費用には正常債権（ステージ1と2）の引当が含まれ、前年同期のリスク費用には正常債権の小幅な引当解除が含まれていました。

これらを受けて、営業利益はグループ全体で当四半期に35億700万ユーロと前年同期比6.9%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同+4.5%）、事業部門では同10.7%増の大幅増益でした。

営業外項目は、グループ全体で当四半期は2億2,700万ユーロの利益でした（前年同期は1億7,000万ユーロの利益）。当四半期は営業外項目に一時項目を計上しませんでした。前年同期の営業外項目には一時項目としてAllfunds株売却²による譲渡益1億4,400万ユーロが含まれていましたが、のれんの減損損失（-1億4,900万ユーロ）で相殺されました。

税引前利益はグループ全体で当四半期は37億3,400万ユーロ、前年同期（34億5,000万ユーロ）比で8.2%増でした。

¹ コマーシャル&個人向けバンキング事業のプライベートバンキングの100%を含む（フランスのPEL/CELの影響を含む）

² Allfunds持分1.97%の売却



法人税率は平均で24.8%でした。

以上から、グループ全体の当四半期の純利益は27億6,100万ユーロとなり、前年同期比10.3%増の力強い増益でした。なお、一時項目による影響を除くと30億2,000万ユーロに上り、前年同期比16.4%増の大幅増益です。

普通株式等Tier1比率は2022年9月末現在12.1%¹でした。当グループの即時利用可能な余剰資金は4,410億ユーロに上り、これは短期資金調達との関係で1年超の余裕資金があることを意味します。レバレッジ比率²は3.9%でした。

1株当たり有形純資産額³は2022年9月末現在79.3ユーロで、2008年12月末からの年平均成長率は6.8%に相当します。

当グループは社会と関わる方針の強化を続けており、事業全てで優先的な5つの柱「持続可能な貯蓄・投資・ファイナンス、カーボンニュートラルへの移行、自然資本と生物多様性、社会的包摂、循環経済」へのアプローチを拡大しています。環境金融専門メディアEnvironmental Financeはこうした取り組みを評価し、2022年度の欧州・中東・アフリカ（EMEA）地域の「Net zero progression of the year」にBNPパリバを選出しています。また、BNPパリバはフランス規格協会（AFNOR）のAllianceラベルを取得している唯一の銀行としても際立っています。AllianceラベルはDiversityラベルとProfessional Equalityラベルを結合したもので、その目的はダイバーシティ、包摂、職業上の平等に対する取り組み効果の評価です。

当グループは内部統制体制の強化も継続しています。

2022年度第3四半期累計期間（1-9月）において、グループ全体の営業収益は383億1,000万ユーロに上り、前年同期比9.4%増の大幅増収を果たしました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同+6.9%）。

事業部門の営業収益は前年同期比10.5%増でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同+7.8%）。CIB部門の営業収益は14.9%増と力強く（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+10.2%）、特にグローバル・マーケット事業と証券管理事業の好調が貢献し、グローバル・バンキング事業も不利な市場で底堅さを見せました。CPBS部門の営業収益⁴も9.8%増と堅調で（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+7.6%）、コマース&個人向けバンキング事業と専門的金融事業の極めて力強い伸びに牽引されました。IPS部門の営業収益も不利な市場環境にありながら3.5%増を達成しています（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+2.9%）。

営業費用はグループ全体で252億2,900万ユーロ、前年同期比8.8%増でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同+5.6%）。この中には、一時項目として、事業再編費用と事業適応費用（8,500万ユーロ）、および、IT強化費用（2億2,900万ユーロ）が合計3億1,400万ユーロ含まれています（前年同期は2億1,000万ユーロ）。

事業部門の営業費用は前年同期比8.0%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同+5.0%）、ジョーズ効果は高水準でした（+2.5ポイント）。CIB部門の営業費用は、事業開発の支援、為替レート変動による影響、連結範囲変更の影響により、12.5%増でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+6.5%）。ジョーズ効果は正でした（+2.4ポイント）。CPBS部門の営業費用⁴は、コマース&個人向けバンキング事業と専門的金融事業の事業活動の増加や連結範囲変更の影響により6.2%増でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+4.3%）。ジョーズ効果は良好でした（+3.6ポイント）。IPS部門の営業費用は5.0%増で（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+4.0%）、主に事業開発支援や的を絞った取り組みで高めました。

¹ 資本要求指令4（CRD4）；国際財務報告基準（IFRS）第9号経過規定を含む

² 規則（EU）2019/876に従って算定

³ 再評価後

⁴ コマース&個人向けバンキング事業のプライベートバンキングの100%を含む（フランスの営業収益に対するPEL/CELの影響を含む）



営業総利益はグループ全体で当第3四半期累計期間に130億8,100万ユーロに上り、前年同期比10.6%の大幅増益でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同+9.2%）。

リスク費用はグループ全体で21億9,200万ユーロで、特に不良債権（ステージ3）のリスク費用を低位に留め、前年同期に比べて9.2%削減しています。リスク費用の中には当四半期に生じたポーランドの「債務者支援法」による一時的影響（2億400万ユーロ）が含まれていますが低位でした（この影響を除くと顧客向け融資残高の28bp相当、含めると同31bp相当）。

これらを受けて、営業利益はグループ全体で当第3四半期累計期間に108億8,900万ユーロとなり、前年同期比15.8%増の大幅増益でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同+15.7%）。

営業外項目は、グループ全体で当第3四半期累計期間に6億2,400万ユーロの利益となりました（前年同期は10億6,000万ユーロの利益）。一時項目は1,500万ユーロで、前年同期（6億9,300万ユーロ）を大きく下回りました。当第3四半期累計期間の一時項目には、bpost bankの負ののれんから生じたプラス影響（+2億4,400万ユーロ）、持分売却による譲渡益（+2億400万ユーロ）、Ukrsibbankの証券の減損（-1億5,900万ユーロ）、為替差損益の再分類に伴うマイナス影響（-2億7,400万ユーロ）が含まれています。なお、前年同期の一時項目には、建物売却による譲渡益（+3億200万ユーロ）、BNPパリバ・アセットマネジメントによる持分売却の譲渡益（+9,600万ユーロ）、Allfunds株売却¹による譲渡益（+4億4,400万ユーロ）、第3四半期ののれんの減損損失（-1億4,900万ユーロ）が含まれていました。

税引前利益はグループ全体で当第3四半期累計期間に115億1,300万ユーロに達し、前年同期比10.0%増の大幅増益でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同+14.3%）。

当第3四半期累計期間の法人税率は平均で29.7%でした。これは主に国際財務報告基準解釈指針委員会（IFRIC）第21号（以下「IFRIC 21」）「賦課金」により税金・拠出金が第1四半期に通年分の全額が計上され、その大半は税控除できないことによるものです。

以上から、株主帰属純利益はグループ全体で当第3四半期累計期間に80億4,600万ユーロとなり、前年同期と比べて12.0%増の大幅増益でした。一時項目の影響を除くと84億2,900万ユーロに上り、同22.6%増の力強い増益でした。

有形自己資本利益率（ROTE、再評価前）は当第3四半期累計期間に年率11.4%となり、当グループが多角的かつ統合的なビジネスモデルで生み出した堅実な業績を反映しています。

¹ Allfunds持分8.69%の売却



ホールセールバンキング (CIB) 部門

CIB部門は堅調な顧客取引に支えられ、当四半期も極めて好調でした。多角的かつ統合的なビジネスモデルが奏功し、事業活動は堅調でした。

CIB部門は市場シェアを拡大し、欧州のファイナンス事業¹やトランザクションバンキング事業²で首位の座を確立しています。また、CIB部門は電子取引のマルチディーラープラットフォームでも主導的地位を固めています。

お客様の取引需要は特にコモディティデリバティブ・金利・為替市場で旺盛で、株式取引も高水準でした。金融市場が下落するなか、発行市場では顧客向けのファイナンス事業が世界的に底堅さを示しました。証券管理事業では事業活動が力強く、取引高は引き続き高水準でした。

CIB部門の営業収益は、当四半期は37億9,900万ユーロ、前年同期比5.9%増の大幅増収でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同+2.0%）。グローバル・バンキング事業は不利な環境ながら底堅さを見せ（-7.9%）、グローバル・マーケット事業は極めて力強く（+14.7%）、証券管理事業も堅実な増収でした（+9.9%）。

グローバル・バンキング事業の営業収益は、不利な環境の下、当四半期は11億8,100万ユーロ、前年同期比7.9%減でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同-13.1%）。当四半期は、前年同期が高水準だったことに加え、レバレッジドファイナンスのシンジケートの残部ポジションの評価減の影響を受けました。キャピタルマーケット事業のEMEA地域³の営業収益は著しく不利な市場としては持ちこたえませんでした（-20.5%。グローバル発行市場は-22%⁴）。また、営業収益はトレードファイナンスとキャッシュマネジメントの全地域的大幅増（前年同期比+27.0%）とアジア太平洋地域の力強い伸びによって下支えされました。融資残高は1,870億ユーロ⁵と増え続けており（前年同期比+12.1%⁵、前四半期比+3.1%⁵）、預金残高は2,090億ユーロ⁵、前年同期比5.8%増、前四半期比2.7%増⁵でした。

グローバル・マーケット事業の営業収益は、顧客取引が全般的に堅調だったことから当四半期は19億8,600万ユーロに上り、前年同期比14.7%増の力強い増収でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同+11.6%）。FICC事業⁶の営業収益は11億2,400万ユーロ、25.5%増と堅調でした。発行市場やクレジット市場の環境は有利ではなかったものの、コモディティデリバティブ・金利・為替・新興市場の活況に牽引されました。株式・プライムサービス事業の営業収益は8億6,300万ユーロと3.3%増で、高水準の顧客取引（特にエクイティデリバティブ）とプライムサービスからの多大な寄与が増収要因となりました。市場リスクの尺度であるバリュエーション・アット・リスク（VaR。保有期間1日、信頼区間99%）は、堅実なリスク管理が奏功し、前四半期比ほぼ横ばいの3,400万ユーロと低位でした。

証券管理事業の当四半期の事業活動は、欧州での新規マンドートに牽引され、多角的なビジネスモデルにも支えられ、好調でした。営業収益は当四半期は6億3,200万ユーロ、前年同期比9.9%増でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同+7.7%）。取引手数料の急増に加え、金利環境も寄与しました。当四半期は取引高の大幅増を達成しています（前年同期比+8.2%）。市場環境は不利でしたが、預かり資産はよく持ちこたえています（2021年9月末比-8.1%）。2022年9月末時点の市場下落の影響は、新規マンドートの獲得で一部相殺できました。

¹ 出所：Dealogic社、2022年9月末時点、EMEA（欧州、中東、アフリカ）地域、ブックランナー取引高

² 出所：2022 Greenwich Leaders：European Large Corporate（キャッシュマネジメントとトレードファイナンス）

³ 欧州、中東、アフリカ

⁴ 出所：Dealogic社、2022年9月末時点、世界のシンジケートローン・債券・株式市場取引高

⁵ 平均残高（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く）

⁶ Fixed Income, Currencies, and Commodities（債券、為替、コモディティ）



CIB部門の営業費用は、当四半期は23億4,300万ユーロ、前年同期比4.5%増でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同-0.2%）。ジョーズ効果は正でした（+1.4ポイント）。

これらを受けて、CIB部門の営業総利益は当四半期に14億5,600万ユーロとなり、前年同期比8.2%増でした。

CIB部門のリスク費用は当四半期は9,000万ユーロ、グローバル・バンキング事業では1億1,600万ユーロでした（前年同期は2,400万ユーロ）。顧客向け融資残高の26bp相当で、不良債権（ステージ3）の低水準の引当を反映して低位でした。

以上から、CIB部門の税引前利益は当四半期に13億6,900万ユーロに達し、前年同期比2.9%増でした。

2022年度第3四半期累計期間（1-9月）において、CIB部門の営業収益は126億800万ユーロ、前年同期比14.9%増の大幅増収でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同+10.2%）。グローバル・マーケット事業（+27.8%）と証券管理事業（+10.4%）は好調でしたが、グローバル・バンキング事業の営業収益は不利な市場環境が響いて1.8%減でした。

グローバル・バンキング事業の営業収益は当第3四半期累計期間は36億9,600万ユーロ、前年同期比1.8%減でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同-6.2%）。不利な環境ながら持ちこたえ、特に第2～第3四半期に健闘し、市場シェアは向上し続けています。

グローバル・マーケット事業の営業収益は当第3四半期累計期間は70億300万ユーロ、前年同期比27.8%増の大幅増収でした。FICC事業¹の営業収益は41億4,000万ユーロ、29.7%増でした。お客様のデリバティブ取引需要（特にコモディティ・金利・為替デリバティブの再配分ニーズやヘッジニーズ）や新興市場取引需要の力強い伸びに牽引されました。株式・プライムサービス事業の営業収益は28億6,300万ユーロ、25.1%増で、株式市場の取引高（特にデリバティブ）が高水準だったことが増収要因となりました。

証券管理事業の営業収益は、当第3四半期累計期間は19億800万ユーロ、前年同期比10.4%増でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同+8.4%）。取引高の急増や金利環境の影響が増収に寄与しました。

CIB部門の営業費用は当第3四半期累計期間に80億1,000万ユーロとなり、前年同期比12.5%増でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同+6.5%）。事業活動の伸びに伴う費用増、連結範囲変更の影響、IFRIC 21「賦課金」の増加が押し上げ要因となりました。ジョーズ効果は高水準でした（+2.4ポイント）。

これらを受けて、CIB部門の営業総利益は当第3四半期累計期間に45億9,700万ユーロに上り、前年同期比19.3%増の高い伸びでした。

CIB部門のリスク費用は当第3四半期累計期間は1億6,800万ユーロと低位で、高水準だった前年同期（特に第1四半期）比で8,500万ユーロの削減です。

以上から、CIB部門の税引前利益は当第3四半期累計期間に44億4,500万ユーロに達し、前年同期比21.8%増でした。

¹ Fixed Income, Currencies, and Commodities（債券、為替、コモディティ）



コマーシャル&個人向けバンキング サービス (CPBS) 部門

CPBS部門の当四半期の業績は力強い事業活動に牽引され、上向きました。コマーシャル&個人向けバンキング事業は好調で、専門的金融事業は力強く伸長しています。

融資残高は6,800億ユーロと前年同期比8.3%増、預金残高は6,560億ユーロと同7.1%増でした。プライベートバンキングへの当四半期の資金純流入は旺盛で、32億ユーロ近傍に達しました。CPBS部門はサービスやプロセスのデジタル化を継続しています。

営業収益¹は、当四半期は71億1,000万ユーロ、前年同期比9.6%増でした。コマーシャル&個人向けバンキング事業では7.2%増、専門的金融事業では14.7%増の力強い増収でした。

営業費用¹は、当四半期は43億3,000万ユーロ、前年同期比7.0%増でした。コマーシャル&個人向けバンキング事業と専門的金融事業の双方で事業開発支援が嵩み、連結範囲変更の影響もあり、押し上げられました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+4.5%）。ジョーズ効果は高水準でした（+2.6ポイント）。

これらを受けて、営業総利益¹は当四半期は27億8,000万ユーロ、前年同期比14.0%増の大幅増益でした。

リスク費用¹は、当四半期は7億3,000万ユーロ、前年同期比14.2%増でした。

以上から、プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（インベストメント&プロテクションサービス部門）へ配分した後、CPBS部門の税引前利益²は当四半期に20億9,200万ユーロとなり、前年同期比8.6%増の大幅増益でした。

2022年度第3四半期累計期間（1-9月）において、CPBS部門の営業収益¹は212億7,300万ユーロ、前年同期に比べて9.8%増の大幅増収でした。営業収益は、コマーシャル&個人向けバンキング事業の力強い伸びに牽引され（純利息収入や手数料収入が増加）、専門的金融事業の好調な増収も貢献しました。営業費用¹は堅調な事業活動に伴って嵩み、連結範囲変更の影響もあり、134億4,200万ユーロ、前年同期比6.2%増でした（連結範囲変更および為替レート変動による影響を除くと同+4.3%）。ジョーズ効果は高水準でした（+3.6ポイント）。これらを受けて、営業総利益¹は78億3,100万ユーロ、前年同期比16.4%増の大幅増益でした。リスク費用¹は17億7,600万ユーロで、主にバンクウエストの第1四半期の引当解除により前年同期比11.2%の大幅削減となりました。以上から、プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（インベストメント&プロテクションサービス部門）へ配分した後、CPBS部門の税引前利益²は当第3四半期累計期間に62億3,100万ユーロとなり、前年同期比29.9%増の大幅増益を果たしました。

¹ コマーシャル&個人向けバンキング事業のプライベートバンキングの100%を含む（フランスの営業収益に対するPEL/CELの影響を含む）

² コマーシャル&個人向けバンキング事業のプライベートバンキングの3分の2を含む（PEL/CELの影響を含む）



フランスのコマーシャル&個人向けバンキング (CPBF)

CPBFの当四半期の事業活動は好調でした。融資残高は前年同期比5.9%増え、法人向け運転資金ローンの伸びが高水準だったほか、住宅ローンや消費者ローンの伸びも堅調でした。預金残高は前年同期比5.1%増で、顧客セグメント全てで増加しました。オフバランス貯蓄商品は2021年9月末比5.9%減で、不利な市場環境が響きました。プライベートバンキングへの資金純流入は17億ユーロと堅調で、主に新規顧客の獲得や起業家との既存関係の拡充が奏功しました。

営業収益¹は当四半期は16億6,900万ユーロ、前年同期比6.0%増と力強い伸びでした。純利息収入¹は4.7%増と堅調で、貸出の伸びに加え、金利・市場環境の影響も受けました。手数料収入¹も7.7%増と大きく伸び、顧客セグメント全て（特に法人顧客）で増加しています。

営業費用¹は当四半期は11億3,300万ユーロ、前年同期比0.3%増とほぼ横ばいで、コスト抑制措置の継続が奏功しています。ジョーズ効果は高水準でした（+5.7ポイント）。

これらを受けて、営業総利益¹は当四半期に合計5億3,600万ユーロに上り、前年同期比20.6%増の大幅増益でした。

リスク費用¹は、当四半期は1億200万ユーロ（前年同期比1,400万ユーロの削減）、顧客向け融資残高の18bp相当とごく低位でした。

以上から、フランス国内プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（インベストメント&プロテクションサービス部門）へ配分した後、CPBFの税引前利益²は当四半期に3億9,800万ユーロに達し、前年同期比14.2%増の大幅増益でした。

2022年度第3四半期累計期間（1-9月）において、CPBFの営業収益³は50億1,000万ユーロ、前年同期比7.5%増でした。純利息収入³は、貸出の増加、金利・市場環境の影響、専門的金融事業を手掛ける子会社の好調により5.9%増でした。手数料収入³は9.3%増で、銀行手数料と金融手数料の伸びが顕著でした。営業費用³は34億8,800万ユーロ、前年同期比3.2%増でした。事業開発に伴って嵩みましたが、コスト節減策の効果も生じています。ジョーズ効果は高水準でした（+4.2ポイント）。これらを受けて、営業総利益³は15億2,200万ユーロに上り、前年同期比18.7%増でした。リスク費用³は2億5,900万ユーロ（前年同期は3億4,200万ユーロ）、顧客向け融資残高の16bp相当と低位でした。以上から、フランス国内プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（インベストメント&プロテクションサービス部門）へ配分した後、CPBFの税引前利益²は当第3四半期累計期間に11億8,000万ユーロに達し、前年同期比30.9%増の力強い増益を果たしました。

¹ フランス国内プライベートバンキングの100%を含み、PEL/CELの営業収益に対する影響を含む（2022年度第3四半期は+1,300万ユーロ、2021年度第3四半期は+300万ユーロ）

² フランス国内プライベートバンキングの3分の2を含む（PEL/CELの影響を含む）

³ フランス国内プライベートバンキングの100%を含み、PEL/CELの営業収益に対する影響を含む（2022年度第3四半期累計期間は+3,800万ユーロ、2021年度第3四半期累計期間は+2,400万ユーロ）

**BNLバンカ・コメルシアール (BNL bc)**

BNL bcの当四半期の事業活動は堅調でした。融資残高は前年同期比3.2%増、不良債権を除くと同5.3%増で、法人向け貸出と住宅ローンが好調でした。預金残高は前年同期比11.0%増え、顧客セグメント全て（特に法人顧客）で大きく伸びています。オフバランス貯蓄商品は2021年9月末比6.7%減で、不利な市場環境が響きました。BNL bcはオペレーティングモデルを革変し、2022年度上半期に一定のIT業務やバックオフィス業務をアウトソースし、恩恵を受けています。

営業収益¹は当四半期は6億5,200万ユーロ、前年同期比2.2%減でした（連結範囲変更²による影響を除くと同-0.5%）。純利息収入¹は0.8%減でした。貸出の増加や金利環境の好影響は預貸利鞘の段階的調整で相殺されました。手数料収入¹は4.1%減少しましたが、連結範囲変更²による影響を除くと横ばいでした。銀行手数料の増加は金融手数料の減少で相殺されました。

営業費用¹は当四半期は4億4,000万ユーロに留まり、前年同期比2.1%減、IFRIC21「賦課金」の影響を除くと同3.6%減でした。オペレーティングモデルの革変や事業適応策の効果により、営業費用は減少しています。ジョーズ効果は正でした（IFRIC 21「賦課金」の影響を除くと+1.5ポイント）。

これらを受けて、営業総利益¹は当四半期に2億1,300万ユーロとなり、前年同期比2.4%減でした。

リスク費用¹は、当四半期は1億1,400万ユーロ（前年同期比1,600万ユーロの削減）、顧客向け融資残高の57bp相当と低く、不良債権（ステージ3）の前年同期比の引当低減を反映しています。

以上から、イタリア国内プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（インベストメント&プロテクションサービス部門）へ配分した後、BNL bcの税引前利益³は当四半期に9,500万ユーロとなり、前年同期比18.3%増の大幅増益でした。

2022年度第3四半期累計期間（1-9月）において、BNL bcの営業収益¹は19億7,800万ユーロ、前年同期比1.7%減でした（連結範囲変更²による影響を除くと同-0.2%）。純利息収入¹は貸出の増加や預貸利鞘の段階的調整にもかかわらず1.7%減でした。手数料収入¹は1.6%減でしたが、銀行手数料（特に法人顧客）が貢献し、連結範囲変更²による影響を除くと1.9%増でした。営業費用¹は13億1,000万ユーロに留まり、2.4%減でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと-0.4%）。主にオペレーティングモデルの革変や事業適応策の効果により、営業費用は減少しています。ジョーズ効果は正でした（IFRIC 21「賦課金」の影響を除くと+0.9ポイント）。これらを受けて、営業総利益¹は6億6,900万ユーロとほぼ横ばいでした（-0.2%）。リスク費用¹は3億5,100万ユーロで（前年同期比600万ユーロの小幅増）、顧客向け融資残高の58bp相当と依然低位でした。以上から、イタリア国内プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（インベストメント&プロテクションサービス部門）へ配分した後、BNL bcの税引前利益³は当第3四半期累計期間に2億9,900万ユーロとなり、前年同期比0.2%増でした。

¹ イタリア国内プライベートバンキングの100%を含む

² 2022年1月2日付けの事業売却

³ イタリア国内プライベートバンキングの3分の2を含む



ベルギーのコマーシャル&個人向けバンキング (CPBB)

CPBBの当四半期の事業活動は経済の支援に伴って成長を達成しています。融資残高は前年同期比15.4%増え（連結範囲の変更¹および為替レート変動による影響を除くと同+8.1%）、bpost bankの統合が大きく寄与しました（+85億ユーロ）。個人向け貸出が力強く伸び（前年同期比+16.3%）、特に住宅ローンが好調でした（同+18.2%）。預金残高の伸びは前年同期比9.3%増へ加速し、bpost bank統合が貢献しています（+113億ユーロ）。オフバランス貯蓄商品は市場動向が響き、2021年9月末比5.7%減でした。

営業収益²は当四半期は9億1,700万ユーロ、高水準だった前年同期比1.7%減でした。純利息収入²は2.0%減でしたが、連結範囲変更による影響と前年同期の非経常項目の影響を除くと増収でした。手数料収入²は、金融手数料の減少に伴い、1.1%減でした。

営業費用²は当四半期は5億5,800万ユーロ、前年同期比9.2%増でした（連結範囲変更¹による影響を除くと同+3.0%）。費用増の要因はインフレで、コスト節減策や支店網最適化策の効果で一部相殺しています。

これらを受けて、営業総利益²は当四半期は3億5,900万ユーロ、前年同期比15.0%減でした。

リスク費用²は当四半期は1,700万ユーロ（前年同期比1,900万ユーロの削減）、顧客向け融資残高の5bp相当とごく低水準でした。

以上から、ベルギー国内プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（インベストメント&プロテクションサービス部門）へ配分した後、CPBBの税引前利益³は高水準だった前年同期比13.7%減でした。

2022年度第3四半期累計期間（1-9月）において、CPBBの営業収益²は28億1,700万ユーロに達し、前年同期比6.1%増でした。純利息収入²は6.7%増と大きく伸び、特にbpost bankの統合により預金増に拍車がかかり、貸出も増えています。手数料収入²も4.8%増と力強く、顧客セグメント全てで大幅増でした。営業費用²は20億1,700万ユーロ、前年同期比9.4%増でした。費用増の要因は事業活動の伸びとインフレで、コスト節減策や支店網最適化策で一部相殺しています（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同+3.5%）。これらを受けて、営業総利益²は8億ユーロ、1.3%減でした。リスク費用²は1,600万ユーロに留め（前年同期比1億1,200万ユーロの大幅削減）、顧客向け融資残高の2bp相当とごく低位でした。以上から、ベルギー国内プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（インベストメント&プロテクションサービス部門）へ配分した後、CPBBの税引前利益³は当第3四半期累計期間に7億4,700万ユーロに達し、前年同期比15.4%増の大幅増益でした。

¹ bpost bankを2022年1月1日付けで統合

² ベルギー国内プライベートバンキングの100%を含む

³ ベルギー国内プライベートバンキングの3分の2を含む



ルクセンブルクの商業&個人向けバンキング (CPBL)

CPBLの当四半期の事業活動は好調でした。融資残高は主に法人向け貸出の増加により前年同期比6.4%増、預金残高は同8.9%増でした。オフバランス貯蓄商品は市場動向が響き、2021年9月末比11.4%減でした。

営業収益¹は当四半期は1億1,600万ユーロ、前年同期比8.4%増でした。純利息収入¹は、貸出の増加に加え、法人顧客の預貸利鞘が良好で、9.3%増の大幅増収でした。手数料収入¹は銀行手数料と法人顧客が寄与し4.7%増でした。

営業費用¹は当四半期は6,200万ユーロに抑制し（前年同期比+0.3%）、ジョーズ効果は極めて高水準でした（+8.0ポイント）。

これらを受けて、営業総利益¹は当四半期は5,400万ユーロに上り、前年同期比19.5%増の大幅増益でした。

リスク費用¹は300万ユーロの引当解除に伴い、ごく低水準でした（前年同期は700万ユーロの引当）。

以上から、ルクセンブルク国内プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（インベストメント&プロテクションサービス部門）へ配分した後、CPBLは当四半期に税引前利益²を5,600万ユーロ生み出しています（前年同期は3,700万ユーロ）。

2022年度第3四半期累計期間（1-9月）において、CPBLの営業収益¹は3億4,500万ユーロ、前年同期比9.8%増の力強い増収でした。純利息収入¹は7.8%増、手数料収入¹は17.8%増の大幅な伸びでした。営業費用¹は2億800万ユーロと前年同期比1.7%増、ジョーズ効果は極めて高水準でした（+8.1ポイント）。リスク費用¹は1,100万ユーロの引当解除に伴い、ごく低水準でした（前年同期は500万ユーロの引当）。以上から、ルクセンブルク国内プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（インベストメント&プロテクションサービス部門）へ配分した後、CPBLは当第3四半期累計期間の税引前利益²として1億4,500万ユーロを達成しています（前年同期は1億ユーロ）。

¹ ルクセンブルク国内プライベートバンキングの100%を含む

² ルクセンブルク国内プライベートバンキングの3分の2を含む



欧州・地中海沿岸諸国

欧州・地中海沿岸諸国の当四半期の業績は事業活動の好調さを裏付けました。融資残高はポーランドとトルコの力強い伸びに牽引され、前年同期比**20.3%増¹**でした。預金残高は前年同期比**27.7%増¹**で、ポーランドとトルコで共に増加しています。欧州・地中海沿岸諸国ではデジタル化の推進を続けており、アクティブなデジタル顧客数は**2021年9月末比18.2%増**えています。

欧州・地中海沿岸諸国の営業収益²は、当四半期は**6億700万ユーロ**、前年同期比**30.5%増³**の大幅増収でした。特に純利息収入²が取引高の伸びや金利環境の改善により急増しています。手数料収入²の伸びも堅調で**27.1%増¹**でした。

営業費用²は当四半期は**3億9,300万ユーロ**、前年同期比**11.5%増³**で、特に賃金インフレの高さが費用増につながりました。ジョーズ効果は極めて高水準でした（**+19.0ポイント**）。

これらを受けて、営業総利益²は当四半期に**2億1,400万ユーロ**に達し、前年同期比**88.4%増³**でした。

リスク費用²は当四半期は**5,500万ユーロ**（前年同期比**4,000万ユーロ増**）、顧客向け融資残高の**58bp**相当で、不良債権（ステージ**3**）の引当減を反映しています。前年同期のリスク費用には正常債権（ステージ**1**と**2**）の引当解除が含まれていました。

以上から、トルコおよびポーランドの国内プライベートバンキング業務の純利益の**3分の1**をウェルス・マネジメント事業（インベストメント&プロテクションサービス部門）へ配分した後、欧州・地中海沿岸諸国の税引前利益⁴は当四半期に**2億5,000万ユーロ**に達し、前年同期比**33.5%増³**の大幅増益でした。トルコのハイパーインフレの影響⁵により当四半期は全体的に恩恵に浴することができました（**+100万ユーロ**）。

2022年度第3四半期累計期間（1-9月）において、欧州・地中海沿岸諸国の営業収益²は利息収入²の力強い伸びに牽引され**18億1,200万ユーロ**に上り、前年同期比**31.9%増³**の大幅増収でした。営業費用²は**12億3,200万ユーロ**、前年同期比**8.9%増³**でしたが、ジョーズ効果は極めて高水準でした（**+23.0ポイント**）。これらを受けて、営業総利益²は前年同期比で倍増し、**5億7,900万ユーロ**に上りました。リスク費用²は**1億4,300万ユーロ**に増加しています（前年同期は**1億1,200万ユーロ**）。以上から、トルコおよびポーランドの国内プライベートバンキング業務の純利益の**3分の1**をウェルス・マネジメント事業（インベストメント&プロテクションサービス部門）へ配分した後、欧州・地中海沿岸諸国の税引前利益⁴は当第3四半期累計期間に**6億9,400万ユーロ**に達し、前年同期比で倍増³しています。トルコのハイパーインフレにより当第3四半期累計期間に生じた影響⁵は全体的に小幅でした（**-200万ユーロ**）。

¹ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く

² トルコおよびポーランドの国内プライベートバンキングの**100%**を含む

³ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く。ただし、トルコについては国際会計基準（IAS）第29号に従って為替レート変動による影響を含む。

⁴ トルコおよびポーランドの国内プライベートバンキングの**3分の2**を含む

⁵ IAS第29号「超インフレ経済下における財務報告」の適用とCPI連動債によるヘッジの効果を考慮し、現在は「他の営業外項目」に計上



バンクウエスト

バンクウエストは当四半期も好調な事業活動を維持しました。融資残高は住宅ローンや法人向け貸出の堅調な伸びに牽引され、前年同期比3.0%増¹でした。預金残高は前年同期比8.8%減¹で、このうち顧客預金²は8.5%減¹、マネーマーケット預金も前年割れでした。プライベートバンキング業務の運用資産残高は2022年9月末時点で185億ドルに上り、2021年9月末比で0.8%増加¹しています。なお、2021年12月20日、当グループは米国子会社Bank of the WestをBMO Financial Groupへ売却することを発表しており、取引完了は2022年後半を予定しています³。

バンクウエストの営業収益⁴は当四半期は7億3,300万ユーロ、前年同期比6.4%増¹でした。増収要因は純利息収入の増加で、預貸利鞘の改善、貸出の増加、銀行手数料収入の好調が貢献しています。

営業費用⁴は目標を絞ったプロジェクトに伴って膨らみ、当四半期は5億6,600万ユーロ、前年同期比14.2%増¹でした。

これらを受けて、営業総利益⁴は当四半期は1億6,700万ユーロ、前年同期比13.5%減¹でした。

リスク費用⁴は当四半期は4,900万ユーロ（前年同期比7,200万ユーロ増）、顧客向け融資残高の34bp相当と低位でした。前年同期のリスク費用には、健康危機関連の正常債権（ステージ1と2）の引当解除が含まれていました。

以上から、米国プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（インベストメント&プロテクションサービス部門）に配分した後、バンクウエストの税引前利益⁵は当四半期は1億300万ユーロ、前年同期比54.1%減¹でした。

2022年度第3四半期累計期間（1-9月）において、バンクウエストの営業収益⁴は20億900万ユーロ、前年同期比0.8%減¹でした。2021年度上半期の非経常的項目のプラス寄与を除くと同1.9%増¹で、預貸利鞘の改善、貸出の増加、銀行手数料収入の好調が貢献しました。営業費用⁴は目標を絞ったプロジェクト等に伴って膨らみ、15億3,600万ユーロ、10.4%増¹です。これらを受けて、営業総利益⁴は4億7,300万ユーロ、前年同期比25.4%減¹でした。リスク費用⁴は9,400万ユーロの削減でした。主に健康危機関連の正常債権（ステージ1と2）の引当を第1四半期に解除したことが奏功しましたが、第2-第3四半期の引当で一部相殺されました。以上から、米国プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（インベストメント&プロテクションサービス部門）に配分した後、バンクウエストの税引前利益⁵は当第3四半期累計期間に5億5,600万ユーロとなり、前年同期比14.9%減¹でした。

¹ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く

² 財務活動に関わる預金を除く

³ 通常の条件に準ずる（関係規制当局や独占禁止法規制当局による承認を含む）。2021年12月20日付けプレスリリースを参照されたい。

⁴ 米国プライベートバンキングの100%を含む

⁵ 米国プライベートバンキングの3分の2を含む



専門的金融事業—パーソナル・ファイナンス

パーソナル・ファイナンスの当四半期の事業活動は順調で、リスクプロファイルは景気局面を通して構造的に改善しています。融資残高は、Floa（2022年2月1日から連結）の融資残高の50%を含めると前年同期比4.4%増、除いた場合には同3.2%増でした。ローン組成は、自動車セクターでは不利な環境だったものの、Floaの融資残高の50%を含めると前年同期比8.2%増、除いた場合には同5.3%増でした。

パーソナル・ファイナンスの営業収益は当四半期は13億4,500万ユーロ、前年同期比5.8%増でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同+2.6%）。取引高の増加やローン組成の伸びが寄与しました。

営業費用は事業開発の支援や目標を絞ったプロジェクトの推進に伴って膨らみ、当四半期は6億8,900万ユーロ、前年同期比7.0%増でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同+3.7%）。

これらを受けて、営業総利益は当四半期は6億5,600万ユーロ、前年同期比4.6%増でした。

リスク費用は当四半期は3億3,600万ユーロでした（前年同期比3,300万ユーロ増）。顧客向け融資残高の139bp相当と低位で、商品構成の変化に伴ってリスクプロファイルが構造的に改善したことが寄与しました。特に自動車ローン（2019～2022年のリスク費用の平均は45bp¹）のシェア上昇が貢献しています。

以上から、パーソナル・ファイナンスの税引前利益は当四半期は3億4,000万ユーロ、前年同期比9.5%減でした。

2022年度第3四半期累計期間（1-9月）において、パーソナル・ファイナンスの営業収益は、取引高の増加やローン組成の回復を背景に41億400万ユーロに上り、前年同期比4.7%増でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同+1.7%）。営業費用は事業開発の支援に伴って21億8,300万ユーロとなり、前年同期比4.2%増でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同+1.5%）。これらを受けて、営業総利益は19億2,200万ユーロ、前年同期比5.2%増でした。リスク費用は前年同期比で800万ユーロ削減し、9億6,000万ユーロです。以上から、パーソナル・ファイナンスの税引前利益は、営業総利益の増加とリスク費用の削減が貢献し、当第3四半期累計期間に10億1,000万ユーロに上り、前年同期比10.1%増でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同+8.0%）。

¹ 出所：経営陣資料（平均残高に基づいて算定）



専門的金融事業—アルバルとリーシング・ソリューションズ

アルバルとリーシング・ソリューションズの当四半期の事業活動は好調でした。

アルバルのファイナンスフリートの契約台数は前年同期比**5.5%**増¹でした。中古車価格は高水準を維持しています。リーシング・ソリューションズのファイナンスリース残高は前年同期比**2.9%**増²で、商業用のモメンタムが堅調でした。

アルバルとリーシング・ソリューションズの営業収益は当四半期に**8億7,400万ユーロ**に上り、前年同期比**32.9%**増の力強い増収でした。アルバルの好業績（高水準の中古車価格が貢献）に加え、リーシング・ソリューションズの契約残高の伸びも増収につながりました。

営業費用は当四半期は**3億4,100万ユーロ**、前年同期比**8.6%**増でした。ジョーズ効果は極めて高水準で（**+24.2**ポイント）、低コストで成長できる力や生産性の向上を反映しています。

これらを受けて、営業総利益は当四半期に**5億3,400万ユーロ**に達し、前年同期比**54.9%**増を果たしました。

以上から、両事業の税引前利益は当四半期に**5億200万ユーロ**に上り、前年同期比**1.7倍**の増益でした。

2022年度第3四半期累計期間（1-9月）において、アルバルとリーシング・ソリューションズの営業収益は**25億8,000万ユーロ**、前年同期比**31.2%**増でした。アルバルでは中古車価格の高さとファイナンスフリート契約台数のオーガニック成長が貢献し、リーシング・ソリューションズではファイナンスリース残高の伸びが寄与しました。営業費用は**10億4,800万ユーロ**、前年同期比**8.0%**増でした。ジョーズ効果は極めて高水準で（**+23.2**ポイント）、低コストで成長できる力や生産性の向上を反映しています。以上から、アルバルとリーシング・ソリューションズの税引前利益は当第3四半期累計期間に**14億6,700万ユーロ**に達し、前年同期比**66.5%**増の大幅増益でした。

専門的金融事業—ニューデジタル事業（Nickel、Floa、Lyf）と個人投資家事業

ニューデジタル事業と個人投資家事業は当四半期に全体的に好成果を残しました。**Nickel**は欧州で展開を続け、口座開設数は**2022年9月末時点で290万**に達しています³（**2021年9月末比+26.9%**）。当グループはフランスの後払い決済最大手**Floa**の買収を**2022年1月31日**に完了しています。**Floa**の顧客は**400万人**に上り（**2021年9月末比+14.8%**）、ローン組成は高い水準を持続していますが、与信基準を厳格化しています。個人投資家事業では市場環境が不利な中でも顧客数が力強く増え（前年同期比**+6.0%**）、注文数は高水準を維持しています。

ニューデジタル事業と個人投資家事業の営業収益⁴は、当四半期は**1億9,700万ユーロ**、前年同期比**11.4%**増の大幅増収でした。ニューデジタル事業の営業収益は事業開発に伴って力強く増加しましたが、個人投資家事業の営業収益⁴は不利な市場環境下で前年割れでした。

営業費用⁴は当四半期は**1億4,900万ユーロ**、前年同期比**14.9%**増で、ニューデジタル事業の事業開発戦略で嵩みました。

これらを受けて、両事業の営業総利益⁴は当四半期は**4,800万ユーロ**、前年同期比**1.7%**増でした。

リスク費用⁴は当四半期は**2,300万ユーロ**でした（前年同期は**100万ユーロ**）。**Floa**の寄与の**50%**が**2022年2月1日**から連結され、費用増につながりました。

¹ 平均フリート台数の増加（千台）

² 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く

³ フランスとスペインで設定来

⁴ ドイツ国内プライベートバンキングの**100%**を含む



以上から、ドイツ国内プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（インベストメント&プロテクションサービス部門）に配分した後、ニューデジタル事業と個人投資家事業の税引前利益¹は当四半期は2,200万ユーロ、前年同期比47.8%減でした。

2022年度第3四半期累計期間（1-9月）において、ニューデジタル事業と個人投資家事業の営業収益²は6億1,900万ユーロ、前年同期比10.5%増の大幅増収でした。個人投資家事業は不利な市場環境下で減収でしたが、Nickelの力強い拡大に加え、Floaの寄与の50%が連結され、十分に相殺できました。営業費用²は4億2,000万ユーロ、前年同期比13.6%増でした。費用増の要因はニューデジタル事業の事業開発費用や立ち上げ費用です。これらを受けて、営業総利益²は1億9,800万ユーロ、前年同期比4.5%増でした。リスク費用²は、Floa関連の引当を含め、5,800万ユーロでした。以上から、ドイツ国内プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（インベストメント&プロテクションサービス部門）に配分した後、ニューデジタル事業と個人投資家事業の税引前利益¹は当第3四半期累計期間は1億3,200万ユーロとなり、前年同期比24.8%減でした。

*
* *

¹ ドイツ国内プライベートバンキングの3分の2を含む

² ドイツ国内プライベートバンキングの100%を含む



インベストメント&プロテクションサービス (IPS) 部門

IPS部門の当四半期の事業活動は全体的に好調で、環境・社会・ガバナンス (ESG) が様々な事業の中で定着を続けました。市場環境は不利でしたが、当四半期も資金流入は純流入 (54億ユーロ) を維持しました。特にウェルス・マネジメント事業の資金純流入が旺盛で、アセット・マネジメント事業でも中長期ファンドを中心に資金純流入がみられました。保険事業の基調は貯蓄型保険に下支えされ、不動産管理事業ではプロパティマネジメントが貢献しています。

IPS部門の営業収益は当四半期は16億3,200万ユーロ、前年同期比8.9%増の大幅増収でした。保険事業は増収で、ウェルス・マネジメント事業と不動産管理事業も営業収益を順調に伸ばしましたが、アセット・マネジメント事業の営業収益は市場環境の影響を受けました。

営業費用は当四半期は10億8,700万ユーロでした。事業開発の支援や目標を絞った取り組みで嵩み、前年同期比4.8%増でした。ジョーズ効果は高水準でした (+4.2ポイント)。

これらを受けて、営業総利益は当四半期に5億4,500万ユーロに達し、前年同期比18.3%増の大幅増益でした。

IPS部門の税引前利益は当四半期は6億2,700万ユーロ、前年同期比34.1%増でした。当四半期の税引前利益にはウェルス・マネジメント事業による持分売却の譲渡益が含まれています。関連会社の利益寄与は高水準でした。

2022年度第3四半期累計期間 (1-9月) において、IPS部門の営業収益は50億500万ユーロ、前年同期比3.5%増でした。ウェルス・マネジメント事業と不動産管理事業の増収に加え、プリンシパル・インベストメントの力強い増収に牽引されました。保険事業では金融市場の下落が運用成績を押し下げ、営業収益は小幅減でした。アセット・マネジメント事業の営業収益も市場環境の影響を受けました。営業費用は32億600万ユーロ、前年同期比5.0%増で、事業開発の支援や目標を絞った取り組みに伴って膨らみました。これらを受けて、営業総利益は17億9,900万ユーロ、前年同期比0.9%増でした。他の営業外項目はほぼ横ばいで、保険事業とウェルス・マネジメント事業による当第3四半期累計期間の売却譲渡益はアセット・マネジメント事業による前年同期の売却譲渡益と同等でした。IPS部門の税引前利益は当第3四半期累計期間に20億3,800万ユーロとなり、前年同期比3.9%増でした。

資金純流入と運用資産残高

IPS部門の運用資産残高¹は2022年9月末現在1兆1,750億ユーロで、2021年9月末比3.7%減でした。減少した主因は市場動向の不利な影響で (-1,484億ユーロ)、その一部は資金純流入 (+144億ユーロ) と有利な為替レート変動の影響 (+296億ユーロ) で相殺されました。連結範囲変更の影響もポジティブで (+32億ユーロ)、特にオランダのDynamic Credit Groupの買収とインドでの新たな提携が有利に作用しました。当第3四半期累計期間の資金純流入は全体で144億ユーロでした。ウェルス・マネジメント事業への資金純流入は順調で、欧州 (特にフランスとドイツ) の堅調な事業活動が貢献しました。保険事業の資金純流入も高水準で、特にユニットリンク保険が好調でした。アセット・マネジメント事業 (特にマネー・マーケット・ファンド) は資金純流出を記録しましたが、中長期ファンドで資金純流入が見られ、一部相殺しています。運用資産残高¹の2022年9月末現在の内訳は、アセット・マネジメント事業 (アセット・マネジメント、Real Estate Investment Management、プリンシパル・インベストメントを含む) が5,190億ユーロ、ウェルス・マネジメント事業が4,080億ユーロ、保険事業は2,480億ユーロでした。

¹ 分配金を含む



保険事業

保険事業は当四半期に好成果を達成しました。貯蓄型保険に対する資金流入は当第3四半期累計期間に181億ユーロに上り、特にフランスでは6.5%増でした。保障保険の販売はフランス国内で伸びを続け、とりわけ債務者向け保険が好調で、国際的には最近構築した協力関係が奏功し、特に南米で堅調でした。

保険事業の営業収益は、当四半期は6億5,800万ユーロ、前年同期比7.2%増でした。貯蓄型保険と保障保険が好調でしたが、金融市場の当四半期の比較的顕著な下落が運用成績を押し下げ、相殺されました。

営業費用は事業開発の支援や目標を絞ったプロジェクトの推進に伴って膨らみ、当四半期は3億9,100万ユーロ、前年同期比4.0%増でした。

保険事業の税引前利益は、関連会社の寄与が正常化し、当四半期は2億9,600万ユーロ、前年同期比28.4%増でした。

2022年度第3四半期累計期間（1-9月）において、保険事業の営業収益は21億6,600万ユーロ、前年同期比0.3%減でした。貯蓄型保険と保障保険が好調で、譲渡益も増加しましたが、金融市場の比較的顕著な下落が運用成績に及ぼした影響で相殺されました。営業費用は事業開発の支援や目標を絞ったプロジェクトの推進に伴って11億7,100万ユーロに上り、前年同期比4.0%増でした。保険事業の税引前利益は、関連会社の寄与増や事業売却による譲渡益が第2四半期に生じ、当第3四半期累計期間は11億2,200万ユーロ、前年同期比2.3%増でした。

ウェルス&アセット・マネジメント事業¹

ウェルス&アセット・マネジメント事業¹は当四半期は全体的によく持ちこたえました。ウェルス・マネジメント事業では高水準の資金純流入が特にコマーシャル&個人向けバンキング事業で見られ（とりわけフランス）、富裕層関連も順調でした。アセット・マネジメント事業は、厳しい市場環境の下、当四半期は中長期ファンドを中心に資金純流入を達成し、マネー・マーケット・ファンドからの資金流出を相殺しています。不動産管理事業は好調で、特にプロパティマネジメントが堅調です。

ウェルス&アセット・マネジメント事業の営業収益は、当四半期は9億7,400万ユーロ、前年同期比10.1%増でした。ウェルス・マネジメント事業が純利息収入の伸びに伴って増収となり、プリンシパル・インベストメントの営業収益が大幅に増え、不動産管理事業の営業収益も増加しました。アセット・マネジメント事業の営業収益は、不利な市場環境の影響を受けました。

営業費用は当四半期は6億9,600万ユーロ、前年同期比5.2%増でした。ウェルス・マネジメント事業と不動産管理事業の事業開発支援で嵩みました。ジョーズ効果は全体的に良好でした（+4.9ポイント）。

ウェルス&アセット・マネジメント事業の税引前利益は当四半期は3億3,100万ユーロ、前年同期比39.5%増でした。この中には、ウェルス・マネジメント事業による売却譲渡益の好影響が含まれています。

2022年度第3四半期累計期間（1-9月）において、ウェルス&アセット・マネジメント事業の営業収益は28億3,900万ユーロ、前年同期比6.5%増でした。ウェルス・マネジメント事業が好調で、プリンシパル・インベストメントは力強く伸び、不動産管理事業（特にアドバイザリー業務）の営業収益も大幅に増え、不利な市場環境の影響を受けたアセット・マネジメント事業の減収を十分に相殺しました。営業費用は事業開発支援で嵩み、20億3,500万ユーロと前年同期比5.6%増でした。ウェルス&アセット・マネジメント事業の税引前利益は当第3四半期累計期間は9億1,600万ユーロ、前年同期比5.9%増でした。高水準だった前年同期に引けを取りません。アセット・マネジメント事業が保有していた持分の売却で2021年度第1四半期に生じた譲渡益の影響はウェルス・マネジメント事業による2022年度第3四半期の売却譲渡益で一部相殺されました。

*
* *

¹アセット・マネジメント、ウェルス・マネジメント、不動産管理、プリンシパル・インベストメント



コーポレート・センター

現在、コーポレート・センターの連結範囲にプリンシパル・インベストメンツは含まれておらず、プリンシパル・インベストメンツはインベストメント&プロテクションサービス（IPS）部門に連結されています。

コーポレート・センターの営業収益は当四半期は**-4,600**万ユーロ、前年同期は**-1,000**万ユーロでした。当四半期の営業収益には、デリバティブに含まれる自己勘定の信用リスク再評価の影響（**+9,400**万ユーロ）が含まれています。

営業費用は当四半期は**1億9,900**万ユーロで、前年同期の**1億7,800**万ユーロから増加しました。当四半期の営業費用には、一時項目として、事業再編費用と事業適応費用が**3,200**万ユーロ（前年同期は**2,000**万ユーロ）、IT強化費用が**9,700**万ユーロ（同**4,200**万ユーロ）含まれています。

リスク費用は当四半期は**1億2,800**万ユーロ、前年同期比**9,000**万ユーロ増でした。当四半期のリスク費用には、ポーランドの「債務者支援法」による一時的影響（**2億400**万ユーロ）が含まれています。

他の営業外項目は当四半期に**100**万ユーロの損失となりました（前年同期は**6,100**万ユーロの損失）。前年同期の営業外項目には、Allfunds株売却¹による譲渡益**1億4,400**万ユーロが含まれていましたが、のれんの減損損失**1億4,900**万ユーロで相殺されました。

以上から、コーポレート・センターの税引前損益は当四半期は**3億5,400**万ユーロの損失でした（前年同期は**2億7,400**万ユーロの損失）。

2022年度第3四半期累計期間（1-9月）において、コーポレート・センターの営業収益は**-3,000**万ユーロで（前年同期は**3億1,300**万ユーロ）、デリバティブに含まれる信用リスク再評価の影響（**+2億200**万ユーロ）や第1四半期の非経常的項目のマイナス影響を反映しています。前年同期の営業収益には、インドのSBI Life株**4.99%**の売却により譲渡益が生じた影響（**+5,800**万ユーロ）が含まれていました。営業費用は当第3四半期累計期間は**8億7,800**万ユーロで、特に第1四半期のIFRIC 21「賦課金」²の増加に加え、一時項目として、事業再編費用と事業適応費用が**8,500**万ユーロ（前年同期は**1億300**万ユーロ）、および、IT強化費用が**2億2,900**万ユーロ（前年同期は**1億700**万ユーロ）含まれています。リスク費用は当第3四半期累計期間は**2億4,400**万ユーロで（前年同期は**1億5,900**万ユーロ）、ポーランドの「債務者支援法」により当四半期に生じた一時的影響（**2億400**万ユーロ）が含まれています。他の営業外項目は当第3四半期累計期間は**1億1,000**万ユーロの損失でした（前年同期は**5億2,900**万ユーロの利益）。当第3四半期累計期間の営業外項目には、一時項目として、Ukrsibbankの証券の減損（**-1億5,900**万ユーロ）、為替差損益³の再分類に伴うマイナス影響（**-2億7,400**万ユーロ）が含まれ、この一部はbpost bankの負ののれんから生じたプラス影響（**+2億4,400**万ユーロ）、持分売却による譲渡益（**+2億400**万ユーロ）で相殺されました。前年同期の営業外項目には、一時項目として、建物売却による譲渡益**3億200**万ユーロ、Allfunds株売却⁴による譲渡益**4億4,400**万ユーロ、のれんの減損損失**1億4,900**万ユーロが含まれていました。以上から、コーポレート・センターの税引前損益は当第3四半期累計期間は**12億100**万ユーロの損失でした（前年同期は**5,600**万ユーロの利益）。

¹ Allfunds持分**1.97%**の売却

² IFRIC 21「賦課金」の適用により当年度に計上される税金・拠出金のほぼ全額を第1四半期に計上（単一破綻処理基金に対する推定拠出額を含む）

³ 従来は連結持分に計上

⁴ Allfunds持分**8.69%**の売却



財務構造

当グループの財務構造は極めて盤石です。

普通株式等Tier1比率は2022年9月末現在12.1%¹で、2022年6月末の水準から10bp低下しました。この主因は以下の通りです。

- 当四半期の純利益を剰余金に計上（配当性向60%とリスクアセットのオーガニック成長を考慮後）：+10bp
- 為替レート変動による影響：-10bp
- 2022年9月末時点の市場価格が「その他の包括利益（OCI）」に及ぼした影響：-10bp

他の要因が普通株式等Tier1比率に及ぼした影響は全体として限定的でした。

普通株式等Tier1比率は、2021年12月末以降、変化しています。この主因は以下の通りです。

- 成長加速の影響：-20bp
- 市場価格が「その他の包括利益（OCI）」に及ぼした影響：-30bp
- モデルの更新や規制の改定の影響²：-30bp

レバレッジ比率³は2022年9月末現在3.9%でした。

即時利用可能な剰余資金は2022年9月末現在で4,410億ユーロに上りました。これは資金調達との関係で1年超の余裕資金があることを意味しています。

¹ 資本要求指令4（CRD4）；国際財務報告基準（IFRS）第9号経過規定を含む

² 特に内部格付手法（IRB）の修正、為替の構造持高に関する新たなリスク規制、トルコのハイパーインフレ状況の影響を含む

³ 規則（EU）2019/876に従って算定

**IFRS 第5号適用 – 比較表 (未監査)**

BNPパリバ・グループは2021年12月20日、カナダの金融大手BMO Financial Groupとバンクウェストが運営する米国商業銀行事業すべてを売却することについて合意したと発表しました。当該取引の条件は、当グループが売却目的で保有する資産・負債に関してIFRS第5号の適用範囲に該当するため（注記7.d「2021年12月31日付け連結財務諸表の非継続事業」参照）、2020年度通期については「非継続事業の純利益」を個別に修正再表示することが必要となります。

特段の記載がない限り、この発表の財務情報・項目は、業務見通しを反映するバンクウェスト関連事業を含みます。したがって同財務情報・項目は、売却目的で保有する非流動資産・負債に関連するIFRS第5号適用の影響を反映することはありません。本プレスリリースでは、下記の通り、IFRS第5号を非適用とした業務見通しと、IFRS第5号を適用した連結財務諸表を比較しています。

2022年度第3四半期の連結損益計算書—IFRS第5号比較表

BNP PARIBAS

BNPパリバの損益計算書 – 2022年度第3四半期

IFRS第5号適用

(単位:百万ユーロ)	2022年度第3四半期 IFRS第5号適用前	2022年度第3四半期 IFRS第5号の影響	2022年度第3四半期 IFRS第5号適用後	2021年度第3四半期 IFRS第5号適用前	2021年度第3四半期 IFRS第5号の影響	2021年度第3四半期 IFRS第5号適用後 修正再表示
受取利息純額	17,150	(1,715)	15,435	16,040	(1,465)	14,575
受取手数料純額	7,824	(294)	7,530	7,798	(241)	7,557
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の純益	7,754	(8)	7,746	6,262	(55)	6,207
株式を通じて公正価値で測定する金融資産の純益	53	(16)	37	151	(17)	134
償却原価で測定する金融資産の認識中止に係る純利益	(25)	-	(25)	51	(38)	13
保険事業の純利益	3,347	-	3,347	3,255	-	3,255
その他事業の純利益	2,207	(22)	2,185	1,446	(21)	1,425
営業収益	38,310	(2,055)	36,255	35,003	(1,837)	33,166
従業員給与および従業員給付制度に関わる費用	(13,901)	878	(13,023)	(12,912)	712	(12,200)
その他営業費用	(9,405)	484	(8,921)	(8,399)	370	(8,029)
有形固定資産・無形固定資産の減価償却費、償却費、減損	(1,923)	132	(1,791)	(1,870)	115	(1,755)
営業総利益	13,081	(561)	12,520	11,822	(640)	11,182
リスク費用	(2,192)	(115)	(2,307)	(2,415)	(21)	(2,436)
営業利益	10,889	(676)	10,213	9,407	(661)	8,746
持分法適用会社投資損益	603	-	603	356	-	356
非流動資産純益	(228)	(4)	(232)	763	(13)	750
のれん	249	-	249	(59)	-	(59)
税引前利益	11,513	(680)	10,833	10,467	(674)	9,793
法人税	(3,168)	179	(2,989)	(2,998)	141	(2,857)
非継続事業の純利益		501	501		533	533
少数株主帰属純利益	(299)	-	(299)	(287)	-	(287)
株主帰属純利益	8,046	-	8,046	7,182	-	7,182



連結貸借対照表－2022年9月30日現在－IFRS第5号比較表



BNP PARIBAS

BNPパリバの連結貸借対照表－2022年9月30日現在

IFRS第5号適用

(単位：百万ユーロ)	2022年9月30日現在 IFRS第5号適用前	IFRS第5号の影響	2022年9月30日現在 IFRS第5号適用後	2021年12月31日現在 IFRS第5号適用後
資産				
預金および中央銀行預け金	349,870	(3,607)	346,263	347,883
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産				
トレーディング目的有価証券	194,330	(786)	193,544	191,507
貸出金および売戻契約	269,730	(22)	269,708	249,808
デリバティブ金融商品	459,383	(421)	458,962	240,423
ヘッジ目的デリバティブ	21,772	-	21,772	8,680
その他の包括利益を通じ公正価値で測定する金融資産				
負債性金融商品	39,457	(4,976)	34,481	38,906
資本性金融商品	2,101	-	2,101	2,558
償却原価で測定する金融資産				
金融機関貸出金および債権	47,516	(148)	47,368	21,751
顧客貸出金および債権	930,115	(60,615)	869,500	814,000
負債性金融商品	136,129	(18,569)	117,560	108,510
金利リスクヘッジポートフォリオの再測定による調整	(8,814)	-	(8,814)	3,005
保険事業に係る金融商品	247,626	-	247,626	280,766
当期および繰延税金資産	6,294	(517)	5,777	5,866
未収収益およびその他の資産	258,089	(1,869)	256,220	179,123
持分法適用会社投資	6,690	-	6,690	6,528
有形固定資産および投資不動産	36,894	(484)	36,410	35,083
無形固定資産	3,922	(248)	3,674	3,659
のれん	8,236	(2,941)	5,295	5,121
売却目的保有資産	-	95,203	95,203	91,267
資産合計	3,009,340	-	3,009,340	2,634,444
負債				
中央銀行預金	4,029	-	4,029	1,244
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債				
トレーディング目的有価証券	119,023	-	119,023	112,338
預金および買戻契約	309,303	-	309,303	293,456
負債証券	67,730	-	67,730	70,383
デリバティブ金融商品	413,555	(534)	413,021	237,397
ヘッジ目的デリバティブ	39,285	(356)	38,929	10,076
償却原価で測定する金融負債				
金融機関預金	188,178	(379)	187,799	165,699
顧客預金	1,096,473	(80,824)	1,015,649	957,684
負債性金融商品	160,512	(132)	160,380	149,723
劣後債	25,861	-	25,861	24,720
金利リスクヘッジポートフォリオの再測定による調整	(22,405)	-	(22,405)	1,367
当期および繰延税金負債	3,278	(32)	3,246	3,103
未払費用およびその他の負債	243,005	(1,273)	241,732	145,399
保険会社の責任準備金	227,182	-	227,182	254,795
偶発債務等引当金	8,905	(180)	8,725	10,187
売却目的保有資産関連負債	-	83,710	83,710	74,366
負債合計	2,883,914	-	2,883,914	2,511,937
連結資本				
資本金、払込剰余金、および利益剰余金	114,106	-	114,106	108,176
親会社株主帰属当期純利益	8,046	-	8,046	9,488
資本金、払込剰余金、利益剰余金、および親会社株主帰属当期純利益合計	122,152	-	122,152	117,664
資本に直接認識される資産および負債の変動	(1,388)	-	(1,388)	222
親会社株主資本	120,764	-	120,764	117,886
少数株主資本	4,662	-	4,662	4,621
連結資本合計	125,426	-	125,426	122,507
負債および連結資本合計	3,009,340	-	3,009,340	2,634,444



連結損益計算書

	3Q22	3Q21	3Q22 / 3Q21	2Q22	3Q22 / 2Q22	9M22	9M21	9M22 / 9M21
(単位：百万ユーロ)								
グループ								
営業収益	12,311	11,398	+8.0%	12,781	-3.7%	38,310	35,003	+9.4%
うち受取利息	5,721	5,218	+9.6%	5,695	+0.5%	17,150	16,040	+6.9%
うち手数料	2,572	2,603	-1.2%	2,615	-1.6%	7,824	7,798	+0.3%
営業費用および減価償却費	-7,857	-7,412	+6.0%	-7,719	+1.8%	-25,229	-23,181	+8.8%
営業総利益	4,454	3,986	+11.7%	5,062	-12.0%	13,081	11,822	+10.6%
リスク費用	-947	-706	+34.1%	-789	+20.0%	-2,192	-2,415	-9.2%
営業利益	3,507	3,280	+6.9%	4,273	-17.9%	10,889	9,407	+15.8%
持分法適用会社投資損益	187	131	+42.7%	251	-25.5%	603	356	+69.4%
その他の営業外項目	40	39	+2.6%	-22	n.s.	21	704	-97.0%
税引前利益	3,734	3,450	+8.2%	4,502	-17.1%	11,513	10,467	+10.0%
法人税	-881	-836	+5.4%	-1,240	-29.0%	-3,168	-2,998	+5.7%
少数株主帰属純利益	-92	-111	-17.1%	-85	+8.2%	-299	-287	+4.2%
株主帰属純利益	2,761	2,503	+10.3%	3,177	-13.1%	8,046	7,182	+12.0%
コストインカム率	63.8%	65.0%	-1.2 pt	60.4%	+3.4 pt	65.9%	66.2%	-0.3 pt

BNPパリバの2022年度第3四半期に関わる財務情報の開示は、本プレスリリースおよびプレゼンテーションに含まれています。

法令上要求される開示情報は全て、登録書類 (universal registration document) を含めて、<http://invest.bnpparibas.com>の「Results (業績)」セクションからオンラインで入手可能であり、フランスの通貨金融法典L.451-1-2条およびフランス金融市場庁 (Autorité des Marchés Financiers) の一般規則第222-1条以降の規定に従い、BNPパリバが公表しています。



2022年度第3四半期 - コア事業別業績

	コマーシャル& 個人向けバンキ ング サービス部 門 (プライベート ・バンキング の2/3)	インベストメ ント&プロテ クションサー ビス部門	ホールセール バンキング 部門	事業部門合計	コーポレー ト・センタ ー	グルー プ 合計	
(単位: 百万ユーロ)							
営業収益	6,926	1,632	3,799	12,357	-46	12,311	
	対前年同期比	+9.6%	+8.9%	+5.9%	+8.3%	n.s.	+8.0%
	対前四半期比	-1.1%	-5.3%	-7.5%	-3.7%	-7.9%	-3.7%
営業費用および減価償却費	-4,229	-1,087	-2,343	-7,658	-199	-7,857	
	対前年同期比	+7.0%	+4.8%	+4.5%	+5.9%	+11.7%	+6.0%
	対前四半期比	+1.4%	+1.8%	+1.2%	+1.4%	+18.2%	+1.8%
営業総利益	2,697	545	1,456	4,698	-245	4,454	
	対前年同期比	+13.9%	+18.3%	+8.2%	+12.6%	+30.5%	+11.7%
	対前四半期比	-4.8%	-16.8%	-18.7%	-11.0%	+12.2%	-12.0%
リスク費用	-731	2	-90	-819	-128	-947	
	対前年同期比	+14.5%	n.s.	n.s.	+22.6%	n.s.	+34.1%
	対前四半期比	+13.4%	n.s.	+18.1%	+12.8%	n.s.	+20.0%
営業利益	1,967	547	1,366	3,879	-372	3,507	
	対前年同期比	+13.7%	+20.2%	+3.4%	+10.7%	+65.1%	+6.9%
	対前四半期比	-10.2%	-15.8%	-20.4%	-14.8%	+32.6%	-17.9%
持分法適用会社投資損益	120	42	5	168	19	187	
その他の営業外項目	5	39	-3	41	-1	40	
税引前利益	2,092	627	1,369	4,088	-354	3,734	
	対前年同期比	+8.6%	+34.1%	+2.9%	+9.8%	+29.3%	+8.2%
	対前四半期比	-12.0%	-13.9%	-20.6%	-15.4%	+7.8%	-17.1%

	コマーシャル& 個人向けバンキ ング サービス部 門 (プライベート ・バンキング の2/3)	インベストメ ント&プロテ クションサー ビス部門	ホールセール バンキング 部門	事業部門合計	コーポレー ト・センタ ー	グルー プ 合計	
(単位: 百万ユーロ)							
営業収益	6,926	1,632	3,799	12,357	-46	12,311	
	前年同期	6,321	1,498	3,588	11,408	-10	11,398
	前四半期	7,001	1,723	4,106	12,831	-50	12,781
営業費用および減価償却費	-4,229	-1,087	-2,343	-7,658	-199	-7,857	
	前年同期	-3,954	-1,038	-2,243	-7,234	-178	-7,412
	前四半期	-4,168	-1,068	-2,314	-7,551	-168	-7,719
営業総利益	2,697	545	1,456	4,698	-245	4,454	
	前年同期	2,367	461	1,346	4,174	-187	3,986
	前四半期	2,833	655	1,792	5,280	-218	5,062
リスク費用	-731	2	-90	-819	-128	-947	
	前年同期	-638	-6	-24	-668	-38	-706
	前四半期	-644	-6	-76	-726	-63	-789
営業利益	1,967	547	1,366	3,879	-372	3,507	
	前年同期	1,729	455	1,322	3,506	-225	3,280
	前四半期	2,189	649	1,716	4,554	-281	4,273
持分法適用会社投資損益	120	42	5	168	19	187	
	前年同期	92	17	9	118	13	131
	前四半期	157	66	9	232	19	251
その他の営業外項目	5	39	-3	41	-1	40	
	前年同期	104	-4	0	100	-61	39
	前四半期	32	13	-1	44	-66	-22
税引前利益	2,092	627	1,369	4,088	-354	3,734	
	前年同期	1,926	468	1,331	3,724	-274	3,450
	前四半期	2,378	729	1,724	4,830	-328	4,502
法人税						-881	
少数株主帰属純利益						-92	
株主帰属純利益						2,761	

**2022年度1-9月期 - コア事業別業績**

		コマーシャル& 個人向けバンキ ング サービス部 門 (プライベート ・バンキング の2/3)	インベストメント &プロテクション サービス部門	ホールセール バンキング 部門	事業部門合計	コーポレー ト・センター	グルー プ 合計
<i>(単位: 百万ユーロ)</i>							
営業収益		20,728	5,005	12,608	38,340	-30	38,310
	対前年同期比	+9.8%	+3.5%	+14.9%	+10.5%	n.s.	+9.4%
営業費用および減価償却費		-13,135	-3,206	-8,010	-24,351	-878	-25,229
	対前年同期比	+6.2%	+5.0%	+12.5%	+8.0%	+37.4%	+8.8%
営業総利益		7,592	1,799	4,597	13,989	-908	13,081
	対前年同期比	+16.6%	+0.9%	+19.3%	+15.2%	n.s.	+10.6%
リスク費用		-1,768	-11	-168	-1,948	-244	-2,192
	対前年同期比	-11.1%	-21.4%	-33.5%	-13.7%	+53.4%	-9.2%
営業利益		5,824	1,788	4,429	12,041	-1,152	10,889
	対前年同期比	+28.8%	+1.1%	+23.0%	+21.7%	n.s.	+15.8%
持分法適用会社投資損益		364	160	19	542	61	603
その他の営業外項目		43	91	-3	131	-110	21
税引前利益		6,231	2,038	4,445	12,714	-1,201	11,513
	対前年同期比	+29.9%	+3.9%	+21.8%	+22.1%	n.s.	+10.0%
法人税							-3,168
少数株主帰属純利益							-299
株主帰属純利益							8,046

連結四半期業績の推移

(単位：百万ユーロ)	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
グループ							
営業収益	12,311	12,781	13,218	11,232	11,398	11,776	11,829
うち受取利息	5,721	5,695	5,734	5,169	5,218	5,370	5,452
うち手数料	2,572	2,615	2,637	2,919	2,603	2,640	2,555
営業費用および減価償却費	-7,857	-7,719	-9,653	-7,930	-7,412	-7,172	-8,597
営業総利益	4,454	5,062	3,565	3,302	3,986	4,604	3,232
リスク費用	-947	-789	-456	-510	-706	-813	-896
営業利益	3,507	4,273	3,109	2,792	3,280	3,791	2,336
持分法適用会社投資損益	187	251	165	138	131	101	124
その他の営業外項目	40	-22	3	240	39	302	363
税引前利益	3,734	4,502	3,277	3,170	3,450	4,194	2,823
法人税	-881	-1,240	-1,047	-759	-836	-1,193	-969
少数株主帰属純利益	-92	-85	-122	-105	-111	-90	-86
株主帰属純利益	2,761	3,177	2,108	2,306	2,503	2,911	1,768
コストインカム率	63.8%	60.4%	73.0%	70.6%	65.0%	60.9%	72.7%
融資平均残高（十億ユーロ）	875.3	851.8	828.3	806.4	793.5	787.9	781.9
預金平均残高（十億ユーロ）	865.2	842.9	824.7	809.3	796.2	785.4	770.2
融資期初残高（十億ユーロ、リスク費用算定に使用）	963.7	942.7	903.8	883.0	873.9	866.8	846.9
リスク費用（年率、bp）	39	33	20	23	32	38	42



(単位: 百万ユーロ)	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
ホールセールバンキング (CIB) 部門							
営業収益	3,799	4,106	4,702	3,264	3,588	3,714	3,670
営業費用および減価償却費	-2,343	-2,314	-3,353	-2,348	-2,243	-2,042	-2,834
営業総利益	1,456	1,792	1,349	915	1,346	1,672	836
リスク費用	-90	-76	-2	80	-24	-57	-172
営業利益	1,366	1,716	1,347	996	1,322	1,615	664
持分法適用会社投資損益	5	9	4	6	9	10	9
その他の営業外項目	-3	-1	1	1	0	12	11
税引前利益	1,369	1,724	1,353	1,003	1,331	1,637	683
コストインカム率	61.7%	56.4%	71.3%	72.0%	62.5%	55.0%	77.2%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	29.6	28.9	27.4	26.2	25.8	25.3	25.0
リスクアセット (十億ユーロ)	266.5	260.7	256.2	234.8	236.7	231.8	224.9
(単位: 百万ユーロ)	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
グローバル・バンキング事業							
営業収益	1,181	1,248	1,268	1,324	1,282	1,238	1,243
営業費用および減価償却費	-663	-657	-815	-655	-640	-589	-768
営業総利益	518	591	453	669	642	649	475
リスク費用	-116	-85	20	72	-24	-64	-185
営業利益	402	505	473	741	618	585	290
持分法適用会社投資損益	1	1	1	1	1	9	6
その他の営業外項目	0	0	0	-1	-3	0	0
税引前利益	403	506	474	740	616	594	296
コストインカム率	56.1%	52.7%	64.3%	49.5%	49.9%	47.6%	61.8%
融資平均残高 (十億ユーロ)	187	176	168	161	156	154	149
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	179	170	163	156	153	154	145
預金平均残高 (十億ユーロ)	209	198	190	185	184	185	184
リスク費用 (年率、bp)	0	20	-5	-18	6	17	51
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	16.4	16.0	15.2	14.3	14.0	13.5	13.6
リスクアセット (十億ユーロ)	155.5	149.0	145.3	133.8	137.4	134.5	124.0
(単位: 百万ユーロ)	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
グローバル・マーケット事業							
営業収益	1,986	2,196	2,821	1,338	1,731	1,904	1,846
うちFICC	1,124	1,317	1,700	755	896	1,148	1,149
うち株式およびプライムサービス	863	878	1,121	583	835	757	697
営業費用および減価償却費	-1,167	-1,158	-2,000	-1,224	-1,137	-999	-1,564
営業総利益	819	1,038	821	115	594	905	282
リスク費用	28	8	-21	10	-2	5	14
営業利益	847	1,046	799	124	592	910	296
持分法適用会社投資損益	3	8	2	5	2	5	2
その他の営業外項目	-1	-1	1	-5	4	2	3
税引前利益	848	1,053	802	125	598	917	302
コストインカム率	58.8%	52.7%	70.9%	91.4%	65.7%	52.5%	84.7%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	11.8	11.5	10.9	10.7	10.7	10.7	10.4
リスクアセット (十億ユーロ)	99.4	98.5	96.3	89.1	87.4	85.6	90.2
(単位: 百万ユーロ)	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
証券管理事業							
営業収益	632	663	613	602	575	571	581
営業費用および減価償却費	-513	-499	-538	-469	-465	-454	-503
営業総利益	119	164	75	132	110	117	78
リスク費用	-2	0	0	-2	2	2	-1
営業利益	118	164	75	130	112	120	77
持分法適用会社投資損益	1	0	1	0	6	-4	1
その他の営業外項目	-1	0	0	7	-1	10	7
税引前利益	118	164	77	138	117	126	85
コストインカム率	81.1%	75.3%	87.7%	78.0%	80.9%	79.4%	86.5%
預かり資産 (十億ユーロ)	10,798	11,214	11,907	12,635	12,273	12,067	11,638
管理資産 (十億ユーロ)	2,262	2,256	2,426	2,521	2,451	2,388	2,295
取引件数 (百万件)	35	38.3	38.6	35.5	32.8	33.3	35.7
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	1.4	1.4	1.3	1.2	1.2	1.1	1.1
リスクアセット (十億ユーロ)	11.6	13.2	14.6	11.8	11.8	11.7	10.6



(単位: 百万ユーロ)	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
コマース&個人向けバンキングサービス (CPBS) 部門 (フランス、ベルギー、イタリア、ルクセンブルク、ポーランド、トルコ、米国、ドイツのプライベートバンキングの100%を含む) ¹							
営業収益	7,110	7,184	6,979	6,506	6,485	6,467	6,430
営業費用および減価償却費	-4,330	-4,263	-4,848	-4,252	-4,046	-4,001	-4,609
営業総利益	2,780	2,921	2,131	2,253	2,439	2,466	1,821
リスク費用	-730	-645	-401	-597	-639	-694	-668
営業利益	2,050	2,275	1,730	1,657	1,800	1,771	1,154
持分法適用会社投資損益	120	157	86	70	92	73	51
その他の営業外項目	5	32	6	-5	104	-10	-36
税引前利益	2,175	2,464	1,822	1,722	1,996	1,834	1,169
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-83	-86	-61	-74	-70	-71	-60
コマース&個人向けバンキングサービス部門税引前利益	2,092	2,378	1,761	1,648	1,926	1,763	1,110
コストインカム率	60.9%	59.3%	69.5%	65.4%	62.4%	61.9%	71.7%
融資平均残高 (十億ユーロ)	680	667	651	636	628	624	622
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	677	659	643	633	630	624	625
預金平均残高 (十億ユーロ)	656	645	634	624	612	600	586
リスク費用 (年率、bp)	0	39	25	38	41	44	43
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; フランス、ベルギー、イタリア、ルクセンブルク、ポーランド、トルコ、米国、ドイツのプライベートバンキングの2/3を含む)	47.0	46.3	44.9	43.3	43.3	43.5	43.8
リスクアセット (十億ユーロ)	432.7	426.5	422.3	402.8	395.6	393.7	395.3
(単位: 百万ユーロ)							
コマース&個人向けバンキングサービス部門 (フランス、ベルギー、イタリア、ルクセンブルク、ポーランド、トルコ、米国、ドイツのプライベートバンキングの2/3を含む)							
営業収益	6,926	7,001	6,800	6,334	6,321	6,298	6,263
営業費用および減価償却費	-4,229	-4,168	-4,738	-4,153	-3,954	-3,912	-4,504
営業総利益	2,697	2,833	2,062	2,181	2,367	2,386	1,759
リスク費用	-731	-644	-394	-597	-638	-686	-665
営業利益	1,967	2,189	1,669	1,583	1,729	1,700	1,094
持分法適用会社投資損益	120	157	86	70	92	73	51
その他の営業外項目	5	32	6	-5	104	-10	-36
税引前利益	2,092	2,378	1,761	1,648	1,926	1,763	1,110
コストインカム率	61.1%	59.5%	69.7%	65.6%	62.5%	62.1%	71.9%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	47.0	46.3	44.9	43.3	43.3	43.5	43.8
リスクアセット (十億ユーロ)	428.4	422.2	418.1	398.9	391.8	389.9	391.7
(単位: 百万ユーロ)							
コマース&個人向けバンキング事業 (フランス、ベルギー、イタリア、ルクセンブルク、ポーランド、トルコ、米国のプライベートバンキングの100%を含む) ¹							
営業収益	4,694	4,702	4,575	4,318	4,379	4,297	4,257
うち受取利息純額	3,115	3,071	2,984	2,745	2,873	2,763	2,798
うち手数料	1,579	1,630	1,590	1,574	1,507	1,534	1,459
営業費用および減価償却費	-3,151	-3,065	-3,575	-3,071	-2,959	-2,861	-3,402
営業総利益	1,542	1,637	1,000	1,247	1,420	1,437	855
リスク費用	-334	-265	-43	-219	-280	-316	-313
営業利益	1,209	1,372	957	1,028	1,140	1,121	542
持分法適用会社投資損益	100	133	70	48	76	78	37
その他の営業外項目	2	3	6	-12	68	-1	-36
税引前利益	1,310	1,508	1,033	1,064	1,283	1,198	542
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-83	-86	-61	-73	-70	-71	-59
コマース&個人向けバンキング事業税引前利益	1,227	1,422	972	991	1,214	1,127	483
コストインカム率	67.1%	65.2%	78.1%	71.1%	67.6%	66.6%	79.9%
融資平均残高 (十億ユーロ)	535	523	510	496	491	486	486
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	554	538	525	517	512	508	508
預金平均残高 (十億ユーロ)	625	614	604	594	584	573	560
リスク費用 (年率、bp)	0	20	3	17	22	25	25
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; フランス、ベルギー、イタリア、ルクセンブルク、ポーランド、トルコ、米国のプライベートバンキングの2/3を含む)	35.0	34.6	33.5	32.0	31.9	32.0	32.4
リスクアセット (十億ユーロ)	323.8	317.9	315.5	300.5	294.9	291.9	291.3
(単位: 百万ユーロ)							
コマース&個人向けバンキング事業 (フランス、ベルギー、イタリア、ルクセンブルク、ポーランド、トルコ、米国のプライベートバンキングの2/3を含む)							
営業収益	4,512	4,521	4,398	4,149	4,217	4,131	4,092
営業費用および減価償却費	-3,052	-2,972	-3,466	-2,974	-2,868	-2,773	-3,299
営業総利益	1,460	1,550	932	1,174	1,349	1,358	793
リスク費用	-334	-264	-36	-219	-279	-308	-310
営業利益	1,126	1,286	896	955	1,070	1,050	483
持分法適用会社投資損益	100	133	70	48	76	78	37
その他の営業外項目	2	3	6	-12	68	-1	-37
税引前利益	1,227	1,422	972	991	1,214	1,127	483
コストインカム率	67.6%	65.7%	78.8%	71.7%	68.0%	67.1%	80.6%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	35.0	34.6	33.5	32.0	31.9	32.0	32.4
リスクアセット (十億ユーロ)	319.4	313.6	311.3	296.6	291.1	288.2	287.7

1. プライベートバンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位: 百万ユーロ)	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
ユーロ圏のコマーシャル&個人向けバンキング事業 (フランス、ベルギー、イタリア、ルクセンブルクのプライベートバンキングの100%を含む) 1							
営業収益	3,354	3,479	3,317	3,243	3,280	3,246	3,116
うち受取利息純額	2,011	2,074	1,947	1,922	1,979	1,921	1,861
うち手数料	1,343	1,405	1,370	1,321	1,302	1,325	1,255
営業費用および減価償却費	-2,193	-2,152	-2,678	-2,220	-2,151	-2,061	-2,557
営業総利益	1,161	1,327	640	1,023	1,129	1,185	559
リスク費用	-230	-187	-198	-211	-288	-249	-281
営業利益	931	1,140	442	812	841	936	277
持分法適用会社投資損益	0	1	0	1	5	1	-3
その他の営業外項目	5	31	6	-15	60	3	3
税引前利益	936	1,171	448	799	906	940	278
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-61	-72	-50	-64	-63	-64	-50
ユーロ圏のコマーシャル&個人向けバンキング事業税引前利益	875	1,099	397	735	843	876	228
コストインカム率	65.4%	61.9%	80.7%	68.5%	65.6%	63.5%	82.1%
融資平均残高 (十億ユーロ)	441	433	425	412	407	404	402
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	460	449	437	430	427	421	421
預金平均残高 (十億ユーロ)	508	501	492	481	473	465	456
リスク費用 (年率、bp)	0	17	18	20	27	24	27
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; フランス、ベルギー、イタリア、ルクセンブルクのプライベートバンキングの23を含む)	24.1	24.0	23.2	22.0	22.0	22.0	22.2
リスクアセット (十億ユーロ)	215.8	214.0	218.8	207.2	201.7	201.3	201.5
(単位: 百万ユーロ)	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
ユーロ圏のコマーシャル&個人向けバンキング事業 (フランス、ベルギー、イタリア、ルクセンブルクのプライベートバンキングの23を含む)							
営業収益	3,208	3,326	3,164	3,096	3,137	3,099	2,971
営業費用および減価償却費	-2,108	-2,073	-2,583	-2,136	-2,073	-1,986	-2,465
営業総利益	1,100	1,254	582	960	1,065	1,113	506
リスク費用	-230	-186	-191	-212	-287	-241	-278
営業利益	870	1,068	391	748	778	872	227
持分法適用会社投資損益	0	1	0	1	5	1	-3
その他の営業外項目	5	31	6	-15	60	3	3
税引前利益	875	1,099	397	735	843	876	228
コストインカム率	65.7%	62.3%	81.6%	69.0%	66.1%	64.1%	83.0%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	24.1	24.0	23.2	22.0	22.0	22.0	22.2
リスクアセット (十億ユーロ)	211.6	209.9	214.7	203.4	198.0	197.6	197.9
(単位: 百万ユーロ)	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
フランスのコマーシャル&個人向けバンキング事業 (フランスのプライベートバンキングの100%を含む) 1							
営業収益	1,669	1,728	1,613	1,608	1,574	1,607	1,481
うち受取利息純額	899	919	847	884	859	860	797
うち手数料	769	809	766	724	714	747	684
営業費用および減価償却費	-1,133	-1,117	-1,239	-1,178	-1,129	-1,075	-1,175
営業総利益	536	612	374	430	444	532	306
リスク費用	-102	-64	-93	-99	-115	-101	-125
営業利益	434	548	281	331	329	431	181
持分法適用会社投資損益	0	1	0	0	0	-2	0
その他の営業外項目	1	25	0	-15	54	0	0
税引前利益	434	574	282	316	383	429	181
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-36	-42	-31	-35	-34	-30	-28
フランスのコマーシャル&個人向けバンキング事業税引前利益	398	531	250	280	349	399	153
コストインカム率	67.9%	64.6%	76.8%	73.3%	71.8%	66.9%	79.3%
融資平均残高 (十億ユーロ)	212	208	203	201	200	199	198
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	227	221	218	215	216	213	213
預金平均残高 (十億ユーロ)	249	244	240	241	237	231	226
リスク費用 (年率、bp)	0	12	17	19	21	19	24
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; フランスのプライベートバンキングの23を含む)	11.1	11.0	10.6	10.6	10.7	10.8	10.8
リスクアセット (十億ユーロ)	105.2	102.8	103.2	98.0	96.4	97.1	99.6

1. プライベートバンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む

PEL/CELに係る引当金に関する留意事項: 当該引当金は、フランスのコマーシャル&個人向けバンキング (CPBF) 事業収益において計上されているが、住宅財形貯蓄制度 (Plans Epargne Logement: PEL) および住宅財形貯蓄口座 (Comptes Epargne Logement: CEL) から全存続期間にわたり生じるリスクを考慮している。

(単位: 百万ユーロ)	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
PEL/CELの影響 (フランスのプライベートバンキングの100%)							
	13	14	11	6	3	19	1
(単位: 百万ユーロ)	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
フランスのコマーシャル&個人向けバンキング事業 (フランスのプライベートバンキングの23を含む)							
営業収益	1,592	1,647	1,531	1,530	1,499	1,531	1,406
営業費用および減価償却費	-1,092	-1,078	-1,195	-1,136	-1,091	-1,036	-1,132
営業総利益	500	569	336	395	408	495	274
リスク費用	-103	-64	-86	-100	-113	-94	-121
営業利益	397	505	250	295	295	401	153
営業外項目	1	26	0	-15	54	-2	1
税引前利益	398	531	250	280	349	399	153
コストインカム率	68.6%	65.4%	78.0%	74.2%	72.8%	67.7%	80.5%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	11.1	11.0	10.6	10.6	10.7	10.8	10.8
リスクアセット (十億ユーロ)	102.3	100.0	100.4	95.5	93.9	94.6	97.2



(単位: 百万ユーロ)	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
BNLベンカ・コムシアーレ (イタリアのプライベートバンキングの100%を含む) ¹							
営業収益	652	671	654	668	667	669	676
うち受取利息純額	382	387	380	370	385	387	398
うち手数料	271	284	274	298	282	283	278
営業費用および減価償却費	-440	-416	-454	-438	-449	-435	-458
営業総利益	213	255	201	230	218	235	217
リスク費用	-114	-110	-128	-143	-130	-105	-110
営業利益	99	146	73	87	88	130	107
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0	0	0
その他の営業外項目	0	2	0	0	0	0	0
税引前利益	99	148	73	87	88	130	107
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-4	-8	-8	-9	-8	-10	-9
BNLベンカ・コムシアーレの税引前利益	95	139	65	78	80	120	98
コストインカム率	67.4%	62.0%	69.3%	65.6%	67.3%	64.9%	67.9%
融資平均残高 (十億ユーロ)	79	78	79	78	77	76	77
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	80	79	82	80	78	77	79
預金平均残高 (十億ユーロ)	65	65	63	62	59	59	58
リスク費用 (年率、bp)	0	55	63	71	67	54	56
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; イタリアのプライベートバンキングの2/3を含む)	6.0	6.0	5.9	5.3	5.3	5.3	5.5
リスクアセット (十億ユーロ)	48.7	49.3	49.8	49.1	49.2	48.2	47.7
(単位: 百万ユーロ)	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
BNLベンカ・コムシアーレ (イタリアのプライベートバンキングの2/3を含む)							
営業収益	631	649	633	645	645	647	654
営業費用および減価償却費	-423	-403	-440	-424	-435	-422	-445
営業総利益	208	246	193	222	210	225	208
リスク費用	-114	-109	-128	-143	-130	-104	-110
営業利益	95	138	65	78	80	120	98
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0	0	0
その他の営業外項目	0	2	0	0	0	0	0
税引前利益	95	139	65	78	80	120	98
コストインカム率	67.0%	62.0%	69.5%	65.7%	67.4%	65.2%	68.1%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	6.0	6.0	5.9	5.3	5.3	5.3	5.5
リスクアセット (十億ユーロ)	48.2	48.8	49.3	48.7	48.8	47.8	47.3
(単位: 百万ユーロ)	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
ベルギーのコマーシャル&個人向けバンキング事業 (ベルギーのプライベートバンキングの100%を含む) ¹							
営業収益	917	965	935	854	933	864	858
うち受取利息純額	636	677	632	581	649	589	585
うち手数料	281	288	303	273	284	275	274
営業費用および減価償却費	-558	-554	-905	-540	-511	-488	-845
営業総利益	359	412	30	314	422	376	14
リスク費用	-17	-16	17	28	-36	-45	-47
営業利益	342	396	47	342	386	331	-33
持分法適用会社投資損益	0	1	0	2	5	2	-3
その他の営業外項目	3	3	4	1	6	4	3
税引前利益	345	399	52	344	397	337	-33
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-19	-20	-10	-18	-20	-22	-12
ベルギーのコマーシャル&個人向けバンキング事業税引前利益	326	379	42	326	377	315	-45
コストインカム率	60.9%	57.3%	96.8%	63.3%	54.8%	56.5%	98.4%
融資平均残高 (十億ユーロ)	137	134	131	120	119	116	115
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	140	136	125	122	120	118	118
預金平均残高 (十億ユーロ)	162	162	161	149	149	149	146
リスク費用 (年率、bp)	0	5	-6	-9	12	15	16
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; ベルギーのプライベートバンキングの2/3を含む)	6.1	6.2	5.9	5.3	5.2	5.2	5.2
リスクアセット (十億ユーロ)	54.2	54.2	58.4	53.1	49.4	49.1	47.5
(単位: 百万ユーロ)	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
ベルギーのコマーシャル&個人向けバンキング事業 (ベルギーのプライベートバンキングの2/3を含む)							
営業収益	871	920	890	810	890	819	813
営業費用および減価償却費	-532	-529	-870	-514	-486	-466	-811
営業総利益	339	392	20	296	403	353	3
リスク費用	-17	-16	18	28	-37	-44	-48
営業利益	323	376	38	324	367	309	-45
持分法適用会社投資損益	0	1	0	2	5	2	-3
その他の営業外項目	3	3	4	1	6	4	3
税引前利益	326	379	42	326	377	315	-45
コストインカム率	61.1%	57.4%	97.8%	63.4%	54.7%	56.9%	99.7%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	6.1	6.2	5.9	5.3	5.2	5.2	5.2
リスクアセット (十億ユーロ)	53.4	53.5	57.6	52.4	48.7	48.4	46.8

1. プライベートバンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位: 百万ユーロ)	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
ルクセンブルクのコマースシャル&個人向けバンキング事業 (プライベートバンキングの100%を含む) ¹							
営業収益	116	114	115	113	107	106	101
うち受取利息純額	94	90	88	87	86	85	81
うち手数料	22	24	27	26	21	21	20
営業費用および減価償却費	-62	-66	-80	-64	-62	-64	-79
営業総利益	54	48	35	49	45	42	22
リスク費用	3	3	5	3	-7	1	1
営業利益	56	51	40	52	38	43	23
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0	0	0
その他の営業外項目	1	0	2	0	0	0	0
税引前利益	58	51	42	52	38	43	23
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-1	-2	-2	-2	-2	-1	-1
ルクセンブルクのコマースシャル&個人向けバンキング事業税引前利益	56	49	40	50	37	42	21
コストインカム率	53.8%	57.8%	69.8%	56.3%	58.1%	60.2%	78.2%
融資平均残高 (十億ユーロ)	13	13	13	12	12	12	12
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	13	13	13	12	12	12	12
預金平均残高 (十億ユーロ)	31	30	29	29	28	27	27
リスク費用 (年率、bp)	0	-9	-17	-10	23	-3	-2
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; ルクセンブルクのプライベートバンキングの2/3を含む)	0.8	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7
リスクアセット (十億ユーロ)	7.8	7.6	7.5	6.8	6.6	6.8	6.7

(単位: 百万ユーロ)	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
ルクセンブルクのコマースシャル&個人向けバンキング事業 (プライベートバンキングの2/3を含む)							
営業収益	113	110	111	110	104	103	97
営業費用および減価償却費	-61	-64	-78	-62	-61	-62	-77
営業総利益	52	46	33	48	43	41	21
リスク費用	3	3	5	3	-7	1	1
営業利益	55	49	38	51	36	42	21
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0	0	0
その他の営業外項目	1	0	2	0	0	0	0
税引前利益	56	49	40	50	37	42	21
コストインカム率	53.7%	57.9%	70.4%	56.5%	58.2%	60.4%	78.9%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	0.8	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7
リスクアセット (十億ユーロ)	7.7	7.5	7.4	6.8	6.6	6.8	6.7

(単位: 百万ユーロ)	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
他の国々のコマースシャル&個人向けバンキング事業 (ポーランド、トルコ、米国のプライベートバンキングの100%を含む) ¹							
営業収益	1,340	1,223	1,258	1,075	1,099	1,052	1,141
うち受取利息純額	1,104	997	1,037	822	894	842	938
うち手数料	236	225	221	253	205	209	204
営業費用および減価償却費	-958	-913	-897	-851	-808	-799	-845
営業総利益	381	310	361	224	291	252	297
リスク費用	-104	-78	154	-8	8	-67	-32
営業利益	277	232	515	216	299	185	265
持分法適用会社投資損益	100	132	70	46	71	77	40
その他の営業外項目	-3	-27	0	2	8	-4	-40
税引前利益	374	337	585	265	378	258	265
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-21	-14	-10	-9	-7	-7	-9
他の国々のコマースシャル&個人向けバンキング事業税引前利益	353	323	575	256	371	251	255
コストインカム率	71.5%	74.6%	71.3%	79.2%	73.5%	76.0%	74.0%
融資平均残高 (十億ユーロ)	94	90	85	84	83	83	84
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	94	89	87	87	86	87	87
預金平均残高 (十億ユーロ)	118	113	112	113	111	108	105
リスク費用 (年率、bp)	0	35	-71	4	-4	31	15
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; ポーランド、トルコ、米国のプライベートバンキングの2/3を含む)	11.0	10.6	10.3	10.0	10.0	10.0	10.2
リスクアセット (十億ユーロ、年初末)	107.9	103.8	96.8	93.4	93.2	90.7	89.8
(単位: 百万ユーロ)	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
他の国々のコマースシャル&個人向けバンキング事業 (ポーランド、トルコ、米国のプライベートバンキングの2/3を含む)							
営業収益	1,304	1,195	1,234	1,053	1,080	1,032	1,122
営業費用および減価償却費	-944	-899	-883	-839	-795	-787	-834
営業総利益	360	296	351	214	284	245	288
リスク費用	-104	-78	154	-8	8	-67	-32
営業利益	256	218	505	207	292	178	255
持分法適用会社投資損益	100	132	70	46	71	77	40
その他の営業外項目	-3	-27	0	2	8	-4	-40
税引前利益	353	323	575	256	371	251	255
コストインカム率	72.4%	75.2%	71.6%	79.6%	73.7%	76.3%	74.3%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	11.0	10.6	10.3	10.0	10.0	10.0	10.2
リスクアセット (十億ユーロ)	107.8	103.7	96.7	93.2	93.1	90.6	89.8

1. プライベートバンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位: 百万ユーロ)	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
欧州・地中海沿岸諸国事業 (ポーランドとトルコのプライベートバンキングの100%を含む) ¹							
営業収益	607	566	639	449	511	464	516
うち受取利息純額	488	455	518	320	401	349	399
うち手数料	118	111	121	129	109	115	117
営業費用および減価償却費	-393	-418	-422	-395	-363	-394	-435
営業総利益	214	148	217	54	128	71	82
リスク費用	-55	-48	-39	-32	-15	-58	-39
営業利益	159	100	178	22	113	12	43
持分法適用会社投資損益	100	132	70	46	71	77	40
その他の営業外項目	-5	-29	0	-3	-1	-7	-41
税引前利益	253	203	248	65	183	82	41
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-3	-3	-3	-2	-1	-2	-3
欧州・地中海沿岸諸国事業税引前利益	250	200	245	63	182	80	39
コストインカム率	64.7%	73.8%	66.1%	87.9%	74.9%	84.8%	84.2%
融資平均残高 (十億ユーロ)	35	35	34	34	35	34	34
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	38	37	37	38	37	36	37
預金平均残高 (十億ユーロ)	43	41	40	41	41	40	39
リスク費用 (年率、bp)	0	53	43	34	17	65	42
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; ポーランドとトルコのプライベートバンキングの2/3を含む)	5.4	5.2	5.1	5.0	5.0	5.0	5.1
リスクアセット (十億ユーロ)	52.0	51.8	48.4	46.5	47.6	45.9	44.5
(単位: 百万ユーロ)	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
欧州・地中海沿岸諸国事業 (ポーランドとトルコのプライベートバンキングの2/3を含む)							
営業収益	601	560	634	445	508	461	512
営業費用および減価償却費	-391	-416	-420	-393	-381	-392	-433
営業総利益	210	145	214	52	127	69	80
リスク費用	-55	-48	-39	-32	-15	-58	-39
営業利益	155	97	174	20	112	10	41
持分法適用会社投資損益	100	132	70	46	71	77	40
その他の営業外項目	-5	-29	0	-3	-1	-7	-41
税引前利益	250	200	245	63	182	80	39
コストインカム率	65.0%	74.1%	66.3%	88.3%	75.0%	85.1%	84.5%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	5.4	5.2	5.1	5.0	5.0	5.0	5.1
リスクアセット (十億ユーロ)	52.0	51.8	48.4	46.5	47.6	45.9	44.5
(単位: 百万ユーロ)	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
バンクウェスト (米国プライベートバンキングの100%を含む) ¹							
営業収益	733	657	619	626	588	587	625
うち受取利息純額	615	542	519	502	493	493	538
うち手数料	118	114	100	124	96	94	87
営業費用および減価償却費	-566	-495	-475	-457	-425	-406	-410
営業総利益	167	162	144	169	163	182	215
リスク費用	-49	-30	194	24	23	-8	7
営業利益	119	132	337	194	186	173	222
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0	0	0
その他の営業外項目	2	2	0	6	9	3	2
税引前利益	121	134	337	199	195	176	223
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-18	-11	-7	-7	-6	-5	-7
バンクウェスト税引前利益	103	123	330	192	189	171	216
コストインカム率	77.2%	75.4%	76.8%	73.0%	72.3%	69.1%	65.6%
融資平均残高 (十億ユーロ)	59	55	51	50	49	49	50
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	57	53	51	49	49	51	50
預金平均残高 (十億ユーロ)	75	73	72	72	71	68	65
リスク費用 (年率、bp)	0	23	-153	-20	-19	7	-5
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; 米国のプライベートバンキングの2/3を含む)	5.6	5.4	5.2	5.0	4.9	5.0	5.0
リスクアセット (十億ユーロ)	55.9	52.1	48.3	46.8	45.5	44.8	45.3
(単位: 百万ユーロ)	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
バンクウェスト (米国プライベートバンキングの2/3を含む)							
営業収益	703	635	600	608	572	571	609
営業費用および減価償却費	-554	-484	-463	-446	-415	-395	-401
営業総利益	150	151	137	162	157	176	208
リスク費用	-49	-30	194	24	23	-8	7
営業利益	101	121	331	187	180	168	215
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0	0	0
その他の営業外項目	2	2	0	6	9	3	2
税引前利益	103	123	330	192	189	171	216
コストインカム率	78.7%	76.2%	77.2%	73.3%	72.5%	69.1%	65.8%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	5.6	5.4	5.2	5.0	4.9	5.0	5.0
リスクアセット (十億ユーロ)	55.8	52.0	48.2	46.7	45.4	44.7	45.3

1. プライベートバンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位: 百万ユーロ)	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
専門的金融事業 (パーソナル・ファイナンス、アルバルとリーシング・ソリューションズ、ニューデジタル事業と個人投資家事業—ドイツのプライベートバンキングの100%を含む) ¹							
営業収益	2,416	2,482	2,404	2,187	2,106	2,169	2,173
営業費用および減価償却費	-1,179	-1,199	-1,274	-1,181	-1,087	-1,141	-1,207
営業総利益	1,238	1,284	1,130	1,007	1,019	1,029	966
リスク費用	-396	-380	-357	-378	-359	-378	-354
営業利益	841	903	773	629	660	650	612
持分法適用会社投資損益	21	24	16	22	17	-4	15
その他の営業外項目	3	28	0	7	36	-9	1
税引前利益	865	956	789	658	712	637	627
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	0	0	-1	-1	0	0	-1
専門的金融事業税引前利益	865	956	789	658	712	636	626
コストインカム率	48.8%	48.3%	53.0%	54.0%	51.6%	52.6%	55.5%
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	123	121	118	116	117	117	117
リスク費用 (年率、bp)	0	125	121	130	122	130	121
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; ドイツのプライベートバンキングの2/3を含む)	12.0	11.8	11.4	11.3	11.4	11.5	11.4
リスクアセット (十億ユーロ)	109.0	108.6	106.8	102.3	100.7	101.7	104.0
(単位: 百万ユーロ)							
パーソナル・ファイナンス							
営業収益	1,345	1,371	1,388	1,294	1,271	1,319	1,332
営業費用および減価償却費	-689	-718	-776	-710	-644	-700	-750
営業総利益	656	653	612	584	627	619	581
リスク費用	-336	-309	-315	-346	-303	-344	-321
営業利益	320	344	297	238	324	276	260
持分法適用会社投資損益	22	26	14	22	16	-2	16
その他の営業外項目	-2	-12	0	-2	36	-9	1
税引前利益	340	358	312	258	376	264	277
コストインカム率	51.2%	52.4%	55.9%	54.9%	50.7%	53.1%	56.4%
融資平均残高 (十億ユーロ)	94	94	93	91	90	91	91
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	97	96	94	93	94	93	93
リスク費用 (年率、bp)	0	129	134	150	130	147	138
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	8.1	8.0	7.7	7.7	7.8	7.8	7.8
リスクアセット (十億ユーロ)	73.0	73.1	72.4	69.5	68.4	70.0	71.5
(単位: 百万ユーロ)							
アルバルとリーシング・ソリューションズ							
営業収益	874	895	811	709	658	670	639
営業費用および減価償却費	-341	-341	-366	-328	-314	-319	-338
営業総利益	534	553	445	381	344	350	301
リスク費用	-38	-49	-30	-30	-54	-34	-32
営業利益	496	505	415	351	291	317	269
持分法適用会社投資損益	1	1	4	3	3	1	2
その他の営業外項目	5	40	0	0	0	0	0
税引前利益	502	545	419	353	293	317	271
コストインカム率	39.0%	38.1%	45.1%	46.2%	47.7%	47.7%	52.9%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	3.4	3.4	3.3	3.2	3.2	3.3	3.3
リスクアセット (十億ユーロ)	31.2	30.7	29.5	29.3	28.9	28.2	29.0
合計契約残高 (十億ユーロ)	49	49	48	47	46	46	45
ファイナンスフリート契約台数 (千台)	1,520	1,501	1,484	1,470	1,441	1,417	1,393
(単位: 百万ユーロ)							
ニューデジタル事業と個人投資家事業 (ドイツのプライベートバンキングの100%を含む) ¹							
営業収益	197	217	205	184	177	180	203
営業費用および減価償却費	-149	-139	-132	-143	-130	-122	-119
営業総利益	48	77	73	41	47	59	84
リスク費用	-23	-23	-12	-1	-1	-1	-2
営業利益	25	54	61	40	46	58	82
持分法適用会社投資損益	-2	-2	-3	-3	-2	-3	-3
その他の営業外項目	0	1	0	9	0	0	0
税引前利益	23	53	58	47	43	55	79
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	0	0	-1	-1	0	0	-1
ニューデジタル事業と個人投資家事業の税引前利益	22	52	58	46	43	54	79
コストインカム率	75.7%	64.3%	64.4%	77.6%	73.4%	67.5%	58.6%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; ドイツのプライベートバンキングの2/3を含む)	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3
リスクアセット (十億ユーロ)	4.9	4.8	4.9	3.5	3.4	3.4	3.5
Nickelの口座開設数	0	0	0	0	0	0	0
個人投資家事業の融資平均残高 (十億ユーロ)	2	2	1	1	1	1	1
個人投資家事業の預金平均残高 (十億ユーロ)	31	31	30	30	28	27	26
個人投資家事業の運用資産残高 (十億ユーロ)	150	147	162	163	161	157	146
個人投資家事業の欧州の顧客注文件数 (百万件)	10	10.1	13.0	11.8	10.7	10.0	12.4

1. プライベートバンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位: 百万ユーロ)	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
インベストメント&プロテクションサービス (PS) 部門							
営業収益	1,632	1,723	1,650	1,639	1,498	1,686	1,652
営業費用および減価償却費	-1,087	-1,068	-1,051	-1,164	-1,038	-1,001	-1,015
営業総利益	545	655	599	475	461	684	638
リスク費用	2	-6	-7	7	-6	-3	-5
営業利益	547	649	592	482	455	681	633
持分法適用会社投資損益	42	66	52	57	17	38	44
その他の営業外項目	39	13	39	-3	-4	2	97
税引前利益	627	729	683	537	468	721	774
コストインカム率	66.6%	62.0%	63.7%	71.0%	69.3%	59.4%	61.4%
運用資産残高 (十億ユーロ。フランス、ベルギー、イタリア、ルクセンブルク、ポーランド、トルコ、米国、ドイツのプライベートバンキングの100%)	1,175	1,198	1,244	1,277	1,220	1,205	1,174
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	10.0	10.0	9.9	12.0	11.8	11.6	11.5
リスクアセット (十億ユーロ)	43.3	44.8	48.8	51.3	50.2	50.5	51.4
(単位: 百万ユーロ)							
保険事業							
営業収益	658	787	721	655	613	767	792
営業費用および減価償却費	-391	-396	-384	-410	-376	-367	-383
営業総利益	267	391	337	245	237	399	409
リスク費用	0	-1	0	-1	0	-1	0
営業利益	266	390	337	244	237	399	409
持分法適用会社投資損益	31	48	36	30	-2	25	33
その他の営業外項目	-1	14	1	-2	-4	0	0
税引前利益	296	453	373	272	231	424	442
コストインカム率	59.5%	50.3%	53.3%	62.6%	61.3%	47.9%	48.3%
運用資産残高 (十億ユーロ)	248	255	270	282	277	274	288
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	7.1	7.2	7.2	9.4	9.2	9.1	9.0
リスクアセット (十億ユーロ)	16.5	18.2	23.2	26.4	26.5	26.5	28.6
(単位: 百万ユーロ)							
ウェルズ&アセット・マネジメント事業							
営業収益	974	936	929	984	885	919	861
営業費用および減価償却費	-696	-672	-667	-754	-662	-634	-632
営業総利益	278	264	262	230	223	285	229
リスク費用	2	-5	-7	8	-5	-2	-5
営業利益	280	259	255	238	218	282	223
持分法適用会社投資損益	11	18	16	28	19	13	12
その他の営業外項目	40	-1	38	0	0	2	96
税引前利益	331	276	310	265	237	297	331
コストインカム率	71.4%	71.8%	71.8%	76.6%	74.8%	69.0%	73.4%
運用資産残高 (十億ユーロ。フランス、ベルギー、イタリア、ルクセンブルク、ポーランド、トルコ、米国、ドイツのプライベートバンキングの100%)	927	942	974	995	944	930	906
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	2.9	2.8	2.8	2.6	2.6	2.5	2.5
リスクアセット (十億ユーロ)	26.7	26.5	25.5	24.8	23.6	23.9	22.7
(単位: 百万ユーロ)							
ウェルズ・マネジメント事業							
営業収益	409	393	389	365	375	369	367
営業費用および減価償却費	-306	-285	-311	-290	-280	-270	-294
営業総利益	103	108	78	75	95	99	73
リスク費用	1	-3	-7	1	-2	-6	-4
営業利益	104	105	71	77	93	93	69
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0	0	0
その他の営業外項目	40	0	0	0	0	1	0
税引前利益	144	105	71	77	93	94	69
コストインカム率	74.8%	72.5%	79.9%	79.3%	74.7%	73.1%	80.1%
運用資産残高 (十億ユーロ。フランス、ベルギー、イタリア、ルクセンブルク、ポーランド、トルコ、米国、ドイツのプライベートバンキングの100%)	408	411	421	427	412	411	403
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	1.4	1.3	1.3	1.2	1.3	1.3	1.3
リスクアセット (十億ユーロ)	13.3	13.4	12.4	11.9	11.2	11.4	11.4
(単位: 百万ユーロ)							
アセット・マネジメント事業 (不動産管理、プリンシパル・インベストメントを含む)							
営業収益	565	543	540	619	510	550	494
営業費用および減価償却費	-390	-387	-356	-464	-381	-364	-338
営業総利益	175	156	184	155	128	186	156
リスク費用	1	-2	1	6	-4	3	-1
営業利益	176	154	185	161	125	189	155
持分法適用会社投資損益	11	18	16	28	19	13	12
その他の営業外項目	0	-1	38	0	0	1	96
税引前利益	187	171	239	189	144	203	262
コストインカム率	69.0%	71.3%	65.9%	75.0%	74.8%	66.2%	68.4%
運用資産残高 (十億ユーロ)	519	531	553	568	532	519	503
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	1.5	1.5	1.5	1.3	1.3	1.3	1.2
リスクアセット (十億ユーロ)	13.5	13.2	13.2	12.9	12.4	12.5	11.3



(単位：百万ユーロ)	3Q22	2Q22	1Q22	4Q21	3Q21	2Q21	1Q21
コーポレート・センター							
営業収益	-46	-50	66	-5	-10	79	243
営業費用および減価償却費	-199	-168	-511	-264	-178	-217	-244
うち事業再編、IT強化、事業適応費用	-129	-110	-76	-82	-62	-71	-77
営業総利益	-245	-218	-445	-269	-187	-138	0
リスク費用	-128	-63	-54	0	-38	-67	-54
営業利益	-372	-281	-499	-269	-225	-205	-54
持分法適用会社投資損益	19	19	23	4	13	-20	20
その他の営業外項目	-1	-66	-43	247	-61	298	292
税引前利益	-354	-328	-519	-18	-274	73	257
配賦資本（十億ユーロ、年初末）	3.7	3.5	3.8	4.3	4.2	4.3	3.9
リスクアセット（十億ユーロ）	27.9	28.3	22.1	28.7	33.4	32.4	35.2



代替的業績指標 (ALTERNATIVE PERFORMANCE MEASURES: APM) – フランス金融市場庁
(AMF) の一般規則第223-1条に基づく開示

代替的業績指標	定義	使用理由
事業部門損益計算書 (P/L) (各事業部門の営業収益、営業費用、営業総利益、営業利益、税引前利益の合計)	<p>コマーシャル&個人向けバンキング サービス部門、インベストメント&プロテクション サービス部門、ホールセールバンキング部門の損益計算書の合計 (なお、コマーシャル&個人向けバンキング事業の損益には、フランス、イタリア、ベルギー、ルクセンブルク、ドイツ、ポーランド、トルコおよび米国のプライベートバンキングの2/3を含む)</p> <p>BNPパリバ・グループ損益計算書 =事業部門 + コーポレート・センターの損益計算書の合計</p> <p>グループ全体の損益計算書との関係は「コア事業別業績」の表で開示</p>	BNPパリバ・グループの本業の業績を示す指標
PEL/CELの影響を除く損益計算書の合計 (各事業部門の営業収益、営業総利益、営業利益、税引前利益の合計)	<p>PEL/CELの影響を除く損益計算書の合計 グループの調整後の損益計算書の合計は「四半期業績の推移」の表で開示</p>	PEL/CEL口座の全存続期間にわたり発生するリスクに対する引当金変動を除く、当期の損益計算書の合計を表す指標
プライベートバンキングの100%を含むコマーシャル&個人向けバンキング事業の損益計算書の合計	<p>プライベートバンキング全体の損益を含むコマーシャル&個人向けバンキング事業の損益計算書の合計 グループの調整後の損益計算書の合計は「四半期業績の推移」の表で開示</p>	<p>コマーシャル&個人向けバンキング事業の業績を示す指標であり、プライベートバンキングの業績の全部を含む (プライベートバンキングは、コマーシャル&個人向けバンキング(2/3)とウェルス・マネジメント(1/3)の共同責任のもとに置かれるが、その割合にもとづきウェルス・マネジメントに損益を配分する前の数値)</p>
営業費用の変化 (IFRIC 21を除外後)	IFRIC 21に基づく税金・拠出金を除いた上で、営業費用の変化を算定	IFRIC21に基づく税金および拠出金は、事業年度に関わるほぼ全額を上半期に計上するが、その影響を排除し、他の四半期との比較の際の混乱を避け、当事業年度の営業費用の推移をとらえる指標
コスト/インカム率	営業費用を営業収益で除した比率	銀行業務における業務の効率性を表す指標
リスク費用÷期首顧客向け融資残高 (単位: bp)	<p>リスク費用 (単位: 百万ユーロ) を期首の顧客向け融資残高で除したものの 詳細な算定方法については、決算資料に添付された「融資残高に関わるリスク費用」で開示</p>	事業別の貸出金残高総額におけるリスクレベルの指標
不良債権カバー率	<p>金融資産 (ステージ3) の引当金と当該資産 (ステージ3) の減損後残高との関係を表す指標。 対象となる資産は、バランスシート上およびオフバランスシートの債権を含み、受け取った担保と相殺する。顧客向けおよび金融機関向け債権には、償却原価で測定される負債および資本を通じて公正価値で測定する有価証券を含む (保険事業を除く)</p>	不良債権に対する引当の状況を表す指標
一時項目を除く株主帰属純利益	<p>一時項目を除いて算定された株主帰属純利益 一時項目の詳細については、決算資料に添付された「主な一時項目」で開示</p>	多額の新規項目あるいは本業の業績を反映しない項目を除外した、BNPパリバ・グループの純利益を表す指標。除外される項目の主なものに、事業再編、事業適応、IT強化および事業変革費用がある。
自己資本利益率 (ROE)	ROEの詳細な算定方法については、決算資料に添付された「株主資本利益率」で開示	BNPパリバ・グループの自己資本の収益力を表す指標
有形自己資本利益率 (ROTE)	ROTEの詳細な算定方法については、決算資料に添付された「株主資本利益率」で開示	BNPパリバ・グループの有形自己資本の収益力を表す指標



比較分析 – 連結範囲の変更および為替レート変動による影響の排除

連結範囲の変更による影響を排除するための方法は、買収、売却など、取引の形態に依る。その計算の根本的な目的は、期間比較可能性を確保することにある。

企業を買収または新設した場合、当該企業の業績は、同企業が過年度に未だ買収あるいは設立されていなかった期間に対応する分について、連結範囲の変更による影響を除く当会計年度の期間から排除する。

事業売却の場合、当該事業体の業績は、売却以降の期間に対応する過年度の四半期について対称的に排除する。

連結の会計処理方法を変更した場合、同一条件の下に調整した四半期業績に対して、2会計年度（当期および前期）の間で存在した最も低い持分比率を適用する。

為替レート変動による影響を除いた比較分析においては、前年度の四半期（比較対象となる四半期）業績を、当四半期（分析対象となる四半期）の為替レートで修正再表示する。これらの計算は全て、会社の報告通貨を基準に行う。

注：

営業費用： 従業員給与および従業員給付制度に関わる費用、その他営業費用、有形固定資産の減価償却費、無形固定資産の償却費、および不動産・機械設備を含む固定資産の減損などの総額を指す。本資料全体にわたり、「営業費用」および「費用」は特に区別することなく使われている。

事業部門： 以下の3部門から成る。

- **ホールセールバンキング (CIB) 部門：** グローバル・バンキング事業、グローバル・マーケット事業、証券管理事業
- **コマーシャル&個人向けバンキング サービス (CPBS) 部門：**
 - コマーシャル&個人向けバンキング事業（フランス、ベルギー、イタリア、ルクセンブルク、欧州・地中海沿岸諸国、米国）
 - 専門的金融事業—アルバル、リーシング・ソリューションズ、パーソナル・ファイナンス、ニューデジタル事業（Nickel、Lyf等を含む）、個人投資家事業
- **インベストメント&プロテクションサービス (IPS) 部門：** 保険事業、ウェルス&アセット・マネジメント事業（ウェルス・マネジメント事業、アセット・マネジメント事業、不動産管理事業、プリンシパル・インベストメントを含む）



底堅い業績：営業増収、ジョーズ効果はポジティブ、リスク管理は堅実.....	3
ホールセールバンキング（CIB）部門.....	7
コマーシャル&個人向けバンキング サービス（CPBS）部門.....	9
インベストメント&プロテクションサービス（IPS）部門.....	19
コーポレート・センター.....	21
財務構造.....	22
IFRS 第5号適用 – 比較表（未監査）.....	23
連結損益計算書.....	25
2022年度第3四半期 – コア事業別業績.....	26
2022年度1-9月期 – コア事業別業績.....	27
連結四半期業績の推移.....	28
代替的業績指標（ALTERNATIVE PERFORMANCE MEASURES: APM） – フランス金融市場庁（AMF）の一般規則第223-1条に基づく開示.....	38

Investor Relations & Financial Information

Chrystelle Renaud +33 (0)1 42 98 46 45

Lisa Bugat +33 (0)1 42 98 23 40

Didier Leblanc +33 (0)1 42 98 43 13

Patrice Ménard +33 (0)1 42 98 21 61

Olivier Parenty +33 (0)1 55 77 55 29

Raphaëlle Bouvier Flory +33(0)1 42 98 45 48

Debt Investor Relation Officer

Didier Leblanc +33 (0)1 42 98 43 13

E-mail: investor.relations@bnpparibas.com

<https://invest.bnpparibas.com>



BNP PARIBAS

**The bank
for a changing
world**